

令和5年第9回
教育委員会定例会教育長報告

令和5年9月15日（金）

- | | | |
|----|--|------|
| 1 | 令和5年第3回市議会定例会一般質問対応状況について | 資料1 |
| 2 | 令和4年度 学校保健統計書について | 資料2 |
| 3 | 令和5年度 夏季教職員研修会出席状況について | 資料3 |
| 4 | 令和5年度 武蔵村山市「小中一貫教育の日」の実施について | 資料4 |
| 5 | 令和5年度 全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書
について | 資料5 |
| 6 | 武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託について | 資料6 |
| 7 | 第12回武蔵村山市小中学生百人一首大会の開催について | 資料7 |
| 8 | 令和5年度少年少女スポーツ大会第21回少年少女ドッジボー
ル大会の開催結果について | 資料8 |
| 9 | 第18回地区ふれあいスポレク大会の開催について | 資料9 |
| 10 | 第50回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催について | 資料10 |
| 11 | その他 | |

令和5年第3回市議会定例会一般質問対応状況について

質問者	質問事項	質問要旨	答弁要旨
1 清水 議員 (新政会)	図書館の環境 整備について	全国的に図書館は、 本を貸し出すだけでなく、 様々な機能を持つ居場所 に変化してきているので、 その環境整備について伺う。 ①市立図書館について	市内には、6箇所の市立図書館を 設置しておりますが、いずれも 小規模な施設であるため、現 状では、様々な機能を持つス ペースを新たに確保することは 難しいと考えております。現 在、大規模な改修の予定はご ざいせんが、限られたスケー スを有効的に活用して、居場 所作りなどに取り組んでまい ります。
		②学校図書館について	学校図書館につきましては、学 校教育において欠くことので きない重要な設備であり、児 童・生徒の健全な教養を育成 することを目的としているこ とから、学校司書による季節 に応じた図書の展示や壁面の 装飾など、児童・生徒の興味 を引くための工夫を凝らした 取組を実施しているところで ございます。
2 石黒 議員 (公明党)	中学校の吹奏 楽部の楽器 について	古い楽器のメンテ ナンス状況や新しい 楽器への買い換え状 況など、各中学校にお ける楽器の現状につ いて伺う。	備品として配置している楽器 につきましては、クラリネット やトロンボーン等、59種類 の楽器を全中学校合計で63 4台配置しております。 また、楽器の部品交換等のメン テナンスや本体の買い換えにつ きましては、各中学校に配 当している予算の中から必要 に応じて対応しているところ でございます。
3 鈴木 議員 (市民の力)	メンタルヘル スリテラシー 教育について	①メンタルヘルス リテラシー教育の必要 性について、市教委 の見解を伺う。	小・中学校において、心の健 康や精神疾患に関する正しい 知識をもつことは、心の病 気の予防や不調の早期発見 につながるものと考えてお ります。
		②現在、小・中 学校で行われて いる取組につ いて伺う。	児童・生徒の心身の発達と 心の健康についての理解や、 ストレスマネジメントへの対 処については、保健の授業 を中心に指導を行っており ますので、御理解を賜りま すようお願いいたします。
4 須藤 議員 (公明党)	学校図書館の 現状と今後の 予定、また、 中央図書館の 方向性について	学校図書館につ いて、①現在の司書配 置状況。	司書の配置状況につきましては、 令和4年度末時点で各校1 人ずつ、合計で14人を配 置しております。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁要旨
		②近年の図書標準達成率。	文部科学省が定める学校図書館図書標準の蔵書冊数に対する本市の学校図書館の蔵書冊数の割合につきましては、令和4年度末時点で小学校が140.2%、中学校が139.8%となっております。
		③購入図書冊数。	令和4年度の図書の購入冊数につきましては、小学校が2,860冊、中学校が2,658冊となっております。
		④貸出冊数と市の見解。	令和4年度の貸出冊数につきましては、小学校が19万513冊、中学校が22万1,492冊となっております。貸出冊数につきましては、年度や学校間で差異が生じることもございますが、全小・中学校の司書で組織する学校司書連絡会において学校司書と学校図書館の取組等について情報交換を行いながら、読書活動の推進に努めております。
		⑤中央図書館への現状を伺う。	中央図書館につきましては、中央公民館との機能を併せ持つ（仮称）生涯学習センターについて、検討を進めております。
5 波多野議員 (新政会)	児童・生徒のスポーツ	将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保することなどを目指している部活動の地域移行について、現状と課題について伺う。	現在、部活動の地域移行推進委員会を立ち上げ、検討を進めております。移行を進めるに当たっては、地域人材や協力団体の確保、報酬財源等が課題であり、学校教員が部活動を担わない場合には、部活動の運営について、生徒や保護者の理解を得ていく必要があると考えております。 今後、各中学校及び生徒の意見を踏まえた上で、地域移行の取組が可能な部活動から、段階的に進めていきたいと考えております。
6 藤枝議員 (日本共産党)	学校給食費の無償化に向けた市の方針について	①給食無償化の都内の区市町村実施数。	給食の無償化を実施している都内の区市町村数につきましては、令和5年10月から実施予定の杉並区と府中市を含め、10区、1市、1町、4村の計16自治体であると認識しております。
		②来年度の全国市長会の重点要望の概要。	令和5年度全国市長会の物価高騰等を踏まえた地域経済対策の充実強化に関する重点提言の中では、「物価

質問者	質問事項	質問要旨	答弁要旨
			高騰等に対応した学校給食費の保護者負担軽減に向けた取組を、地域の実情に応じて実施できるよう財政支援を講じること。」としております。
		③10月以降も無償化を延長すべきでは。	本市では、これまでも地方創生臨時交付金を活用し、学校給食の期限付の無償化等を行ってまいりました。 無償化につきましては、財源等の観点から、現時点では実施をすることは考えておりません。
	暑さ対策について	③小・中学校の教室の温度を測定しているか。	小・中学校では、各教室に乾湿計を設置しており、教室内の気温及び湿度を計測しております。
7 高橋議員 (公明党)	自転車利用者の交通ルール遵守の意識を高めるためには	①学校での交通安全教育の促進、効果的な啓発についての現況と今後の対応について。	小・中学校においては、交通安全教室や自転車教室、東京都の事業である「自転車シミュレータを活用した交通安全教室」を活用し、発達段階に応じた交通安全指導を行っております。 教育委員会といたしましては、児童・生徒の生命の安全を図るため、引き続き指導を徹底してまいります。
8 木村議員 (市民の力)	市民の身近な防災食育センターとするための工夫について	(仮称)防災食育センターが、災害時だけでなく日頃から市民の身近な存在として愛され利用される施設にするための工夫について、市の考えを伺う。	(仮称)防災食育センターにつきましては、令和元年度に策定した「武蔵村山市防災まちづくり構想」に基づき、現在整備事業を進めており、令和7年度から運用を開始する予定となっております。 御案内のとおり、当該センターは災害時と平常時の機能を有した施設となり、災害時においては、応急給食の実施、必要な物資の備蓄や救援物資の集積等を行い、平常時においては、市内各小学校への給食の提供をはじめ、来館者を対象とした展示学習ホールでの食育等に関連した展示や、研修室を活用しての研修会等の実施を予定しているところでございます。 市民に御理解いただくことは重要であると認識しておりますので、防災訓練や給食試食会の実施などを通じて、親しみやすい施設となるよう取り組んでまいります。
9 小部山議員 (日本維新の会)	学校図書、市立図書館の蔵書数、廃棄数、	学校図書館充実に向けた地方交付税交付金の使途状況、市立	学校図書の図書に係る令和4年度の地方交付税の使途状況につきましては、地方交付税の措置額に対する図

質問者	質問事項	質問要旨	答弁要旨
	新規購入、施設について	図書館の蔵書数、施設、更新における図書館充実のための取組について伺う。	<p>書購入費の執行額の割合で申し上げますと、小学校で約70%、中学校で約73%となっております。</p> <p>次に、市立図書館につきましては、令和4年度末の蔵書数は、32万3,489冊となっており、同年度中の廃棄冊数が6,154冊、新規購入冊数が7,617冊となっております。大規模な施設の更新を行う予定はございませんが、一般図書及び電子図書の購入により、図書館の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。</p>
10 吉田議員 (公明党)	学校トイレの洋式化について	①現在の状況を伺う。	小・中学校校舎及び屋内運動場内に設置されたトイレの状況につきましては、令和4年度末現在、洋式が565箇所、和式が320箇所となっております。
		②今後の計画についての考えを伺う。	学校トイレの洋式化の今後の計画につきましては、学校の要望により残す一部の和式トイレを除いて、順次改修工事を実施し、洋式化を進めてまいりたいと考えております。

学校保健統計書

令和 4 年度

令和 5 年 9 月

武蔵村山市教育委員会

目 次

I 定期健康診断計測結果

- 1 学年別身長・体重の平均値・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 令和4年度
 - (2) 平成18年度から令和3年度まで

II 疾病異常等調査結果

- 1 学年別疾病異常被患者数・・・・・・・・・・ 4
- 2 学校感染症等による出席停止者数・・・・ 6
- 3 就学児童疾病異常被患者数・・・・・・・・ 8

III 各種検診検査結果

- 1 心臓検診検査結果・・・・・・・・・・ 9
- 2 尿検査結果・・・・・・・・・・ 12

I 定期健康診断計測結果

1 学年別身長・体重の平均値

(1) 令和4年度

校種	区分 男 女別 学年	身長 (c m)		体 重 (k g)				
		男	女	男	女			
		小 学 校		1 年	117.1	115.4	22.1	21.0
2 年	122.6			121.5	24.7	23.9		
3 年	128.0			127.8	27.9	28.2		
4 年	133.3			134.6	31.6	31.3		
5 年	139.8			140.5	36.4	35.4		
6 年	145.2			148.0	39.3	41.3		
中 学 校				1 年	153.7	151.6	45.6	44.2
				2 年	160.5	154.8	50.7	48.3
				3 年	165.9	156.2	54.9	49.9

(2) 平成18年度から令和3年度まで

① 身長

(単位：cm)

校種	年度 男女別 学年	平成18		19		20		21		22		23		24		25	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		小学校															
	1年	116.4	115.2	116.6	115.2	116.4	115.5	116.4	115.1	116.3	115.9	116.6	115.1	116.2	115.0	116.6	114.8
	2年	122.5	121.8	122.1	120.9	122.3	121.4	122.1	121.3	122.7	121.1	122.1	121.7	122.6	121.4	122.2	121.0
	3年	128.0	127.7	128.2	127.3	127.7	126.8	128.2	127.0	127.6	126.9	127.9	126.4	127.8	127.4	128.2	127.0
	4年	133.3	133.3	133.8	133.7	133.6	133.0	132.9	132.5	133.4	132.9	132.8	132.8	133.3	132.7	133.2	133.4
	5年	139.9	140.3	138.6	139.4	138.7	140.4	138.6	139.5	138.2	139.2	138.4	139.5	137.9	139.3	138.6	139.0
	6年	144.6	145.9	144.8	146.8	144.8	146.5	145.1	147.4	144.6	145.8	144.2	146.0	144.8	146.1	144.0	145.8
中学校																	
	1年	152.3	152.2	152.2	151.2	152.3	152.0	152.0	151.9	150.2	152.3	152.2	150.8	152.2	151.4	152.5	151.2
	2年	159.8	155.4	159.2	155.1	159.3	154.4	160.1	155.3	159.0	154.9	159.3	154.9	159.6	154.2	159.8	154.0
	3年	165.4	156.1	165.1	156.9	165.4	157.2	164.9	156.0	165.2	156.7	165.7	156.5	164.9	156.5	165.0	155.6

校種	年度 男女別 学年	26		27		28		29		30		令和元		2		3	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
		小学校															
	1年	116.0	115.1	116.2	115.4	115.8	114.8	115.9	115.8	116.2	115.0	115.9	115.8	117.4	116.6	116.4	115.4
	2年	122.6	120.7	122.1	121.2	122.0	121.6	121.8	120.8	121.8	121.9	122.1	120.6	123.2	123.0	122.2	121.4
	3年	127.9	126.6	128.2	126.6	127.6	126.9	127.7	127.2	127.9	126.7	127.5	127.8	129.5	128.3	127.8	127.9
	4年	133.5	133.2	133.2	132.4	133.3	132.4	133.0	132.9	133.0	133.2	133.2	132.6	134.1	135.4	133.9	133.5
	5年	138.4	140.0	139.0	139.9	138.6	139.0	138.2	139.0	138.5	139.7	138.3	139.6	140.1	141.3	138.8	141.3
	6年	144.6	145.6	144.2	146.6	145.3	146.5	144.6	145.9	144.9	145.7	144.2	146.3	146.3	148.0	145.6	146.6
中学校																	
	1年	151.5	151.5	152.3	151.0	152.0	151.8	152.5	152.0	152.4	151.6	152.6	151.1	154.2	152.5	152.8	151.9
	2年	160.6	154.2	158.9	154.9	159.9	154.4	159.6	154.9	160.5	154.9	159.7	154.5	161.8	154.8	160.1	154.6
	3年	165.1	156.2	165.4	156.0	164.5	156.5	165.2	155.8	165.5	156.4	165.6	156.3	166.5	156.6	165.7	156.1

② 体重

(単位：kg)

校種	年度	平成18		19		20		21		22		23		24		25	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	男女別 学年																
小学校	1年	21.2	20.7	21.6	20.9	21.5	21.0	21.4	21.2	21.5	21.4	21.7	21.0	21.6	20.8	21.7	20.6
	2年	24.5	23.2	23.7	23.1	24.3	23.6	24.0	23.2	24.1	23.8	24.0	24.0	24.5	24.0	24.1	23.2
	3年	27.8	27.2	27.6	26.4	26.9	26.2	27.5	27.0	26.8	26.3	27.2	26.7	27.2	27.0	27.4	26.7
	4年	30.8	29.9	31.0	30.5	31.2	29.9	29.6	29.5	30.5	30.0	29.9	29.7	30.3	30.2	30.3	30.3
	5年	35.0	34.5	34.2	33.9	35.0	35.0	34.5	33.7	33.6	33.8	34.3	34.0	33.6	33.9	33.8	34.2
	6年	38.8	39.0	38.9	39.9	38.9	39.3	39.3	40.0	38.9	38.7	37.8	38.8	38.7	38.9	37.7	38.3
中学校	1年	44.2	45.3	43.8	43.6	44.7	44.6	43.9	43.7	44.1	44.6	44.6	42.7	43.7	43.1	44.5	42.7
	2年	50.8	48.7	48.8	48.2	49.6	46.7	50.7	48.1	48.7	47.6	50.0	47.9	50.3	46.4	49.0	46.6
	3年	56.5	50.0	55.0	50.0	54.8	50.2	54.1	49.2	55.0	51.3	54.7	50.0	55.2	50.4	55.7	48.7

校種	年度	26		27		28		29		30		令和元		2		3	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	男女別 学年																
小学校	1年	21.1	20.8	21.2	21.2	21.3	20.7	21.1	21.6	21.6	20.9	21.2	21.1	21.9	21.3	21.6	21.2
	2年	24.4	23.0	23.8	23.6	23.9	23.9	23.9	23.3	23.8	24.2	24.3	23.4	24.9	24.3	24.3	23.7
	3年	27.2	26.0	27.5	25.9	27.0	26.8	26.8	26.8	27.4	26.4	26.8	27.3	29.1	27.4	27.6	27.1
	4年	30.9	30.1	30.3	29.2	30.9	29.4	30.2	30.1	30.4	30.4	30.6	29.7	31.8	32.1	32.2	31.0
	5年	33.8	34.3	34.5	34.0	34.3	33.5	34.4	33.8	33.8	34.4	33.5	34.3	36.4	35.1	34.8	35.7
	6年	38.3	39.4	37.9	39.3	39.0	39.0	38.4	38.1	39.0	38.6	37.8	39.2	40.2	40.6	40.1	39.5
中学校	1年	42.4	43.2	43.2	44.0	43.4	43.3	44.3	43.5	43.7	43.3	44.5	43.8	46.1	44.3	45.1	45.0
	2年	49.2	46.6	48.7	47.0	49.1	47.5	49.2	47.1	49.7	47.8	49.0	46.9	52.6	47.6	50.2	48.0
	3年	53.4	49.5	54.5	49.6	54.4	49.6	54.4	49.6	54.1	49.9	54.8	50.4	56.2	49.9	56.0	49.6

II 疾病異常等調査結果

1 学年別疾病異常被患者数

男女別	校種	学年	受診者数	栄養状態		脊柱側わん症・脊柱異常	胸郭異常	四肢異常	裸眼視力				眼鏡・コンタクト装用者	眼疾患			難聴
				栄養不良	肥満傾向				1.0以上	1.0未満0.7以上	0.7未満0.3以上	0.3未満		感染性眼疾患	アレルギー性眼疾患	その他の眼疾患	
男	小学校	1	291		15	1			196	59	26	3	8	1	23	5	1
		2	290		10	2			204	46	20	16	8		27	1	2
		3	352		23				240	36	42	14	24		21	6	2
		4	310	1	30				175	42	37	16	43		31	7	△
		5	338		37	2			200	41	43	25	43	1	24	4	1
		6	348	2	26		1		194	44	42	33	53		24	2	△
		計	1,929	3	141	5	1	0	1,209	268	210	107	179	2	150	25	6
	中学校	1	333	6	10	3			171	35	68	38	51		40	4	2
		2	337		10	3	1		163	44	59	44	69		37	2	△
		3	360	2	5	2			160	34	74	49	81		45	5	4
計		1,030	8	25	8	1	0	494	113	201	131	201	0	122	11	6	
女	小学校	1	304		8	5			204	57	25	7	9		26	4	3
		2	319		12	2			213	57	34	7	12		14	5	1
		3	282	1	15	1			170	48	35	13	19		16	1	2
		4	301		15	1			160	48	40	18	49	1	11	3	△
		5	327	1	22	1	1		163	47	50	29	59		13	8	
		6	294	1	13	2			130	37	36	48	70		20	3	△
		計	1,827	3	85	12	1	0	1,040	294	220	122	218	1	100	24	6
	中学校	1	339	4	4	5			126	42	55	57	101	1	42	2	
		2	318	2	8	5			110	48	58	44	99		36	6	△
		3	343	3	5	6	1		110	29	57	67	141		40	1	1
計		1,000	9	17	16	1	0	346	119	170	168	341	1	118	9	1	

〔令和4年度学校保健統計調査〕

(注1) 空欄は、該当者なしを示すものである。

計の欄のみ該当者がなしでも0と表記。

(注2) △は調査対象学年でないことを示すものである。

(注3) 健康診断では判定されず、個別受診等で診断され、その結果を学校が把握している場合の人数を含んでいるため、各種検診結果とは数値が異なる。

(単位：人)

耳鼻咽喉疾患			皮膚疾患			結核		心臓		尿 蛋 白 検 出	尿 糖 検 出	その他				歯科及び口腔					
耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	口 腔 咽 喉 頭 疾 患	感 染 性 皮 膚 疾 患	ア レ ル ギ ー 性 皮 膚 疾 患	そ の 他 の 皮 膚 疾 患	結 核	精 密 検 査 対 象 者	心 臓 疾 患	心 電 図 異 常			気 管 支 喘 息	腎 臓 疾 患	言 語 障 害	そ の 他 の 疾 病 ・ 異 常	受 診 者 数	う 歯 処 置 完 了 者		歯 周 疾 患	歯 列 ・ 咬 合 ・ 顎 関 節 の 異 常	そ の 他 の 歯 ・ 口 腔 の 疾 病 ・ 異 常
										45	54						11				
34	61	3		21	2			1	/	1			1		289	54	73			3	
34	68	6	1	34	4			4	/	5	3	17	3	1	353	54	75		1	3	
25	55	5		22	7			3	/	2	3	8	1	3	308	82	96		3		
25	69	8		18	4			1	/	3		12			339	83	89	2	3	1	
33	68	8		24	4			2	/	11	1	9			349	91	76		1	1	
196	375	41	1	132	22	0	0	13	2	25	7	63	0	5	4	1,930	403	476	2	9	14
27	106	11		38	0		1	3	8	12		15	2	1	15	332	69	47	9	8	5
42	92	8		23	1			2	/	17	2	16		4	25	338	69	42	8	4	1
36	77	5		24	1			1	/	27	1	9		5	23	356	89	56	12	9	1
105	275	24	0	85	2	0	1	6	8	56	3	40	2	10	63	1,026	227	145	29	21	7
38	41	10		20				5	2	4	3	9			3	303	47	64		3	4
29	28	5		16	9			4	/	7		14		2		320	53	73	1	3	3
31	34	7		13				1	/	4		12				281	61	58		2	1
28	38	6		19	4			2	/	4	2	6		1	1	302	82	86	1	3	
32	35	6		21	5			5	/	6	1	9			1	326	95	87	2	3	
25	28	7		10	1			5	/	8		6			1	286	59	50	1		
183	204	41	0	99	19	0	0	22	2	33	6	56	0	3	6	1,818	397	418	5	14	8
24	75	4		21	5			6	5	19	1	6	1		9	344	69	72	13	7	2
22	80	5		18	1				/	11	2	8		1	9	321	83	42	4	5	6
13	49	2		14	2			1	/	5	1	5			13	338	87	60	13	5	1
59	204	11	0	53	8	0	0	7	5	35	4	19	1	1	31	1,003	239	174	30	17	9

2 学校感染症等による出席停止者数
小学校

(単位：人)

病名	月												合計		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ													0	
	新型コロナウイルス感染症	175	91	47	245	43	338	155	202	436	144	74	49	1,999	
第二種	インフルエンザ								1	1	109	127	321	559	
	百日咳													0	
	麻疹													0	
	流行性耳下腺炎	2										1		3	
	風疹													0	
	水痘	1		1	6				1		1	7	1	18	
	咽頭結膜熱	1									1			2	
	結核													0	
	髄膜炎菌性髄膜炎													0	
第三種	腸管出血性大腸菌感染症													0	
	流行性角結膜炎			1				1						2	
	急性出血性結膜炎													0	
	コレラ													0	
	細菌性赤痢													0	
	腸チフス・パラチフス													0	
	溶連菌感染症		4		1			1	1	3			1		11
		ウイルス性肝炎													0
	手足口病							3						3	
	伝染性紅斑													0	
	マイコプラズマ感染症													0	
	その他	感染性胃腸炎 （ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）								2		1			3
		ヘルパンギーナ													0
帯状疱疹			1										1		
その他								1					1		
合計	179	95	50	252	43	343	157	209	437	256	209	372	2,602		

『令和4年度学校保健統計調査』

(注) 空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも0と表記。

病名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ													0
	新型コロナウイルス感染症	133	110	78	176	31	170	161	262	310	135	157	26	1,749
第二種	インフルエンザ								1	7	32	50	39	129
	百日咳													0
	麻疹													0
	流行性耳下腺炎			1										1
	風疹													0
	水痘	1			1						1			3
	咽頭結膜熱													0
	結核													0
	髄膜炎菌性髄膜炎													0
第三種	腸管出血性大腸菌感染症													0
	流行性角結膜炎													0
	急性出血性結膜炎													0
	コレラ													0
	細菌性赤痢													0
	腸チフス・パラチフス													0
	溶連菌感染症	1	1						1					3
	ウイルス性肝炎													0
	手足口病													0
	伝染性紅斑													0
	マイコプラズマ感染症													0
	その他 感染性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)									1				1
	ヘルパンギーナ													0
	帯状疱疹													0
その他													0	
合計		135	111	79	177	31	170	161	265	317	168	207	65	1,886

『令和4年度学校保健統計調査』

(注) 空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも0と表記。

3 就学児童疾病異常被患者数

令和4年11月末時点(単位:人)

項 目		男	女	合計	備 考		
① 就 学 予 定 者 数		299	304	603			
② 受 診 者 数		293	302	595			
検 査 項 目	③ 栄養状態	栄 養 不 良		0			
		肥 満 傾 向	2	1	3		
	④ 脊 柱 の 疾 病 及 び 異 常			2	2		
	⑤ 胸 郭 の 異 常		1		1		
	⑥ 皮 膚 疾 患		20	15	35		
	⑦ 心 臓 の 疾 病 及 び 異 常		4	4	8		
	⑧ 食 物 ア レ ル ギ ー		20	15	35		
	⑨ 結核	結核性の病気にかかったことがある者				0	
		家族や同居人で結核にかかったことがある者				0	
		過去3年以内に通算して半年以上、 海外に住んでいたことがある者		4	1	5	
		BCGの接種を受けたことがある者		277	293	570	
		結核検査のための胸部X線撮影を したことがある者				0	
⑩	裸 眼 視 力 0.3 未 満 (両目又は、片目が0.3未満の者)		7	12	19		
	眼 鏡 等 装 着 測 定 者		5	7	12		
⑪ そ の 他 の 疾 病 及 び 異 常		12	9	21			
⑫ 歯 疾 病 ・ 口 腔 の 異 常	う歯	処 置 完 了 者	38	43	81		
		未 処 置 歯 の ある 者	69	51	120		
	その他の歯・口腔の疾病及び異常		24	18	42		

(注)空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも0と表記。

Ⅲ 各種検診検査結果

1 心臓検診検査結果

小学校

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
1年生	592	5	4			1
他学年	25	10	1			9
合計	617	15	5	0	0	10

中学校

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
1年生	673	8	4			4
他学年	8	4				4
合計	681	12	4	0	0	8

小・中学校全体

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
小学校	617	15	5			10
中学校	681	12	4			8
合計	1,298	27	9	0	0	18

(注1) 空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも0と表記。

(注2) 心臓検診検査結果に関しては、疾病異常等調査結果と対象に違いがあるため、数値が異なる。

小学校内訳(学校別・1年生のみ)

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一小学校	47	1	1			
第二小学校	61					
第三小学校	54					
村山学園 小学部	58	1	1			
大南学園 第七小学校	119					
第八小学校	111	2	2			
第九小学校	47	1				1
第十小学校	61					
雷塚小学校	34					
合計	592	5	4	0	0	1

中学校内訳(学校別・1年生のみ)

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一中学校	189	2	2			
村山学園 中学部	68	2				2
第三中学校	122	1	1			
大南学園 第四中学校	101	2	1			1
第五中学校	193	1				1
合計	673	8	4	0	0	4

小学校内訳(学校別・他学年)

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一小学校	1	1				1
第二小学校	3	1				1
第三小学校	8					
村山学園 小学部						
大南学園 第七小学校	1					
第八小学校	2	2				2
第九小学校	2	2				2
第十小学校	6	3				3
雷塚小学校	2	1	1			
合計	25	10	1	0	0	9

中学校内訳(学校別・他学年)

(単位:人)

校種	受診者数	有所見者数	有所見者内訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一中学校	2	1				1
村山学園 中学部	3	3				3
第三中学校						
大南学園 第四中学校	2					
第五中学校	1					
合計	8	4	0	0	0	4

2 尿検査結果

小学校

学 校 名	一 次 検 査 (人)									陽性率 (%)	
	検査者数	陽性者数	陽 性 者 内 訳								
			蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜		
第一小学校	387	20	5		12	2			1		5.2
第二小学校	374	17	7		10						4.5
第三小学校	384	21	7		14						5.5
村山学園 小学部	332	21	3		18						6.3
大南学園 第七小学校	610	49	4	2	43						8.0
第八小学校	665	32	7	4	20	1					4.8
第九小学校	254	12	4	2	6						4.7
第十小学校	467	32	9	3	18	2					6.9
雷塚小学校	290	15	5		10						5.2
合計	3,763	219	51	11	151	5	0	1	0	全体 5.8	

中学校

学 校 名	一 次 検 査 (人)									陽性率 (%)	
	検査者数	陽性者数	陽 性 者 内 訳								
			蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜		
第一中学校	567	50	24	3	20	2			1		8.8
村山学園 中学部	206	13	7	1	5						6.3
第三中学校	357	29	15	1	13						8.1
大南学園 第四中学校	350	21	11	1	7	2					6.0
第五中学校	584	58	24		28	6					9.9
合計	2,064	171	81	6	73	10	0	1	0	全体 8.3	

(注1) 空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも0と表記。

(注2) 尿検査結果に関しては、疾病異常等調査結果と対象に違いがあるため、数値が異なる。

二 次 検 査 (人)									陽性率 (%)
検査者数	陽性者数	陽 性 者 内 訳							
		蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜	
20	5	1		3	1				1.3
17	4			4					1.1
21	1			1					0.3
20	7			7					2.1
49	11	2	1	8					1.8
30	3			3					0.5
11	1			1					0.4
32	9	1		8					1.9
15	7	1		6					2.4
215	48	5	1	41	1	0	0	0	全体 1.3

二 次 検 査 (人)									陽性率 (%)
検査者数	陽性者数	陽 性 者 内 訳							
		蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜	
44	12	6	2	4					2.1
13	3	2		1					1.5
29	8	3		5					2.2
19	4	1	1		2				1.1
53	11	4		6	1				1.9
158	38	16	3	16	3	0	0	0	全体 1.8

学校保健統計書

令和4年度

発行年月 令和5年9月
発行 武蔵村山市教育委員会
編集 武蔵村山市教育委員会教育部教育総務課
〒208-8501
武蔵村山市本町一丁目1番地の1
TEL 042 (565) 1111 (代表) 内線422・426

令和5年度 夏季教職員研修会出席状況について

1 研修名及び参加者数

(単位：人)

学校名	研修名	
	輝け！未来の 教育管理職研修	教育相談研修会
第一小学校	3	1
第二小学校	5	0
第三小学校	2	0
第八小学校	12	2
第九小学校	3	0
第十小学校	1	1
雷塚小学校	2	1
小中一貫校村山学園	2	3
大南学園第七小学校	2	2
大南学園第四中学校	2	0
第一中学校	0	0
第三中学校	3	1
第五中学校	1	3
合計	38	14

2 参加形態

- (1) 「輝け！未来の教育管理職研修」は受講希望者を募集した。
- (2) 令和5年度新任主幹教諭は「輝け！未来の教育管理職研修」の参加を悉皆とした。
- (3) 令和5年度若手教員育成研修（1年次）受講者は「教育相談研修会」の参加を悉皆とした。

3 その他

「輝け！未来の教育管理職研修」は4講座実施し、いずれかに参加した者の合計人数で示している。

令和5年度 武蔵村山市「小中一貫教育の日」の実施について

1 実施目的 各中学校区での授業実践交流等を通して小中一貫教育の連携を図る。

2 期日及び会場

期 日	中学校区	授業・研究会場
令和5年 6月14日(水)午後	小中一貫校大南学園	大南学園第七小学校 大南学園第四中学校
令和5年 9月13日(水)午後	三中校区	雷塚小学校
令和5年10月11日(水)午後	一中校区	第一中学校
令和5年10月11日(水)午後	小中一貫校村山学園	村山学園
令和5年10月11日(水)午後	五中校区	第二小学校 第八小学校 第十小学校 第五中学校

3 参観日 令和5年10月11日(水)午後

4 訪問校 武蔵村山市立第一中学校

令和 5 年度

全国学力・学習状況調査
武蔵村山市版結果報告書

令和 5 年 9 月 1 5 日
武蔵村山市教育委員会

【目次】

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	
(2)	調査の対象学年及び対象児童・生徒数（実施児童・生徒数）	
(3)	調査の内容	
(4)	調査の方式	
(5)	調査実施日	
(6)	調査時間	
(7)	調査結果の活用	
(8)	質問紙調査結果の解釈等に関する留意事項	
2	小学校の調査結果	2
(1)	平均正答数及び平均正答率	
(2)	正答数分布グラフ	
(3)	領域別の結果	
(4)	問題形式別の結果	
(5)	平均正答率が高い問題	
(6)	特に課題が見られた問題	
(7)	児童質問紙と学力のクロス分析	
3	中学校の調査結果	12
(1)	平均正答数及び平均正答率	
(2)	正答数分布グラフ	
(3)	領域別の結果	
(4)	問題形式別の結果	
(5)	平均正答率が高い問題	
(6)	特に課題が見られた問題	
(7)	生徒質問紙と学力のクロス分析	
4	調査問題・正答例・解説資料等（二次元コード）	30
(1)	教科に関する調査	
(2)	質問紙調査	

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的（全国学力・学習状況調査の概要より）

ア 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

イ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

ウ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学年及び対象児童・生徒数（実施児童・生徒数）

ア 市立小学校 第6学年 9校 641人（621人）

イ 市立中学校 第3学年及び中学部第9学年 5校 647人（633人）

(3) 調査の内容

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学及び中学校・英語）

イ 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

(4) 調査の方式

悉皆調査

(5) 調査実施日

令和5年4月18日（火）

(6) 調査時間

ア 小学校 国語、算数 45分 児童質問紙 20～40分程度

イ 中学校 国語、数学及び英語 50分 生徒質問紙 20～45分程度

(7) 調査結果の活用

児童・生徒一人一人の学習状況の改善に役立てるとともに、各学校における授業の改善、市における学力向上のための施策の充実に役立てる。

(8) 質問紙調査結果の解釈等に関する留意事項

児童・生徒質問紙については、学力との間に一定の関係が見られる項目を抜粋し、教科の平均正答率とのクロス集計とその分析結果を掲載している。

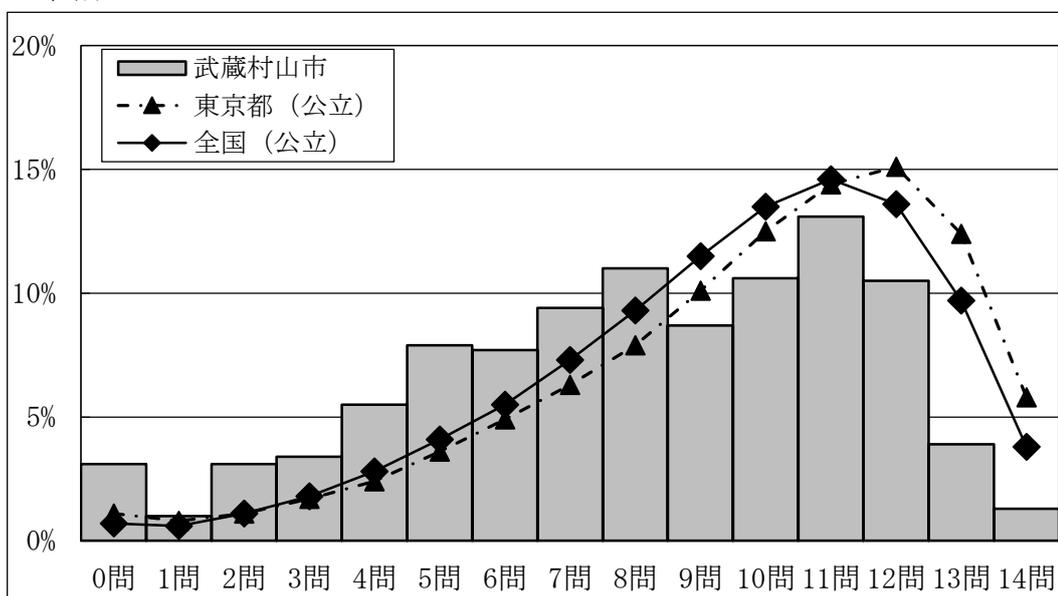
2 小学校の調査結果

(1) 平均正答数及び平均正答率

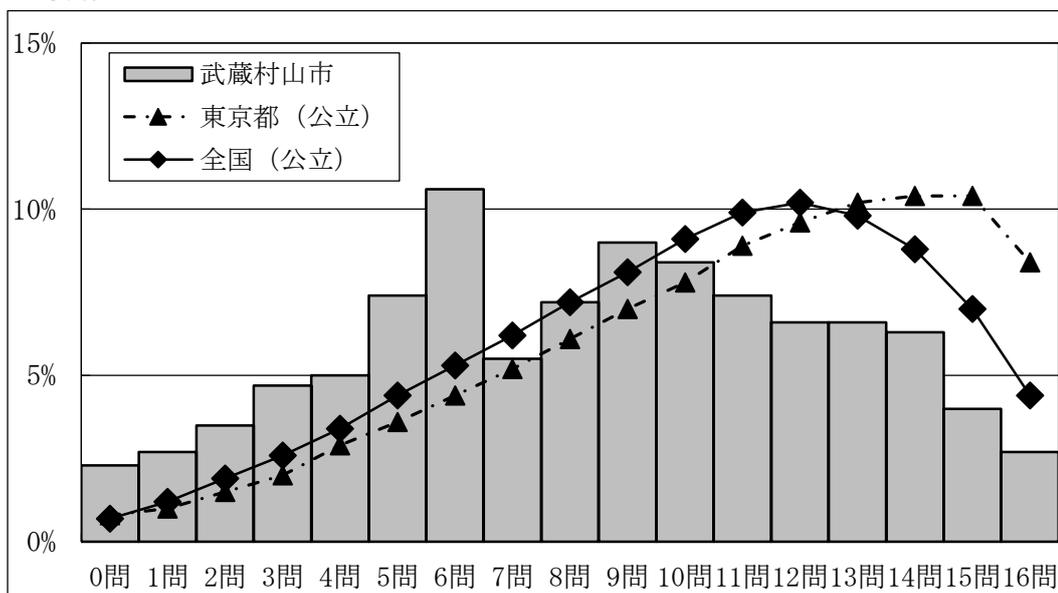
	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
武蔵村山市	8.0 / 14	57 %	8.4 / 16	53 %
東京都 (公立)	9.7 / 14	69 %	10.7 / 16	67 %
全国 (公立)	9.4 / 14	67.2 %	10.0 / 16	62.5 %

(2) 正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)

ア 国語

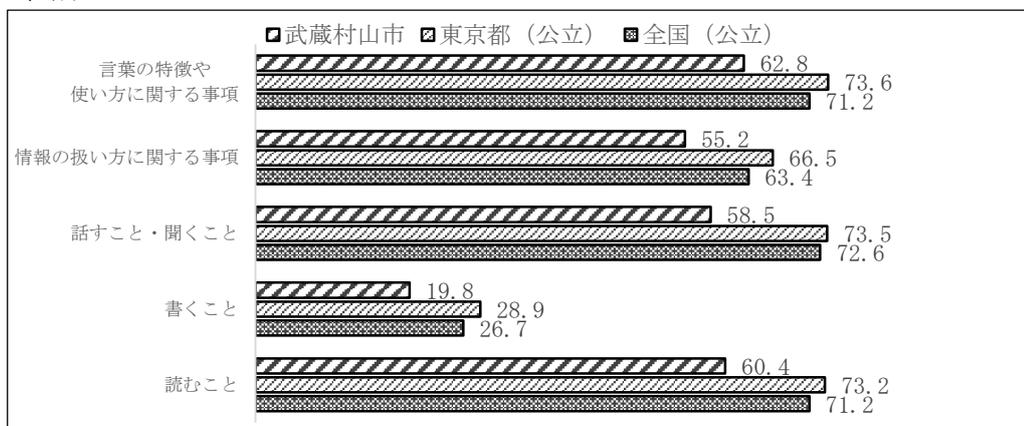


イ 算数



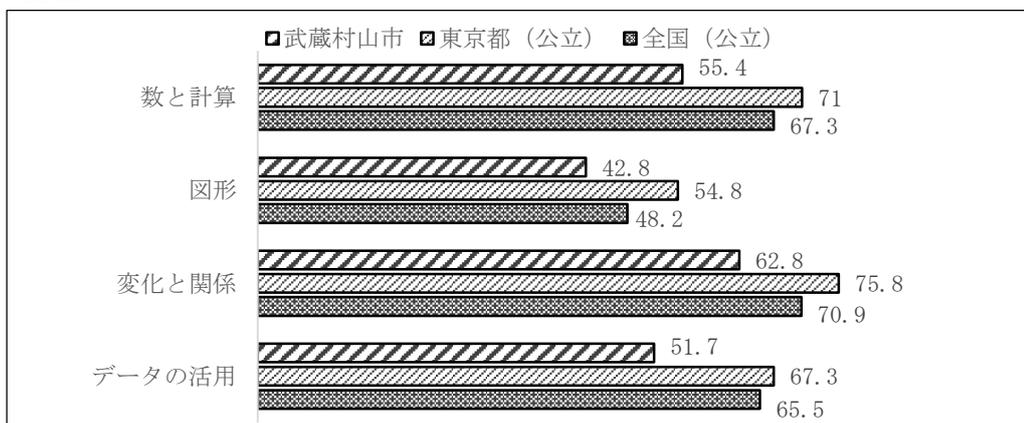
(3) 領域別の結果

ア 国語



	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
言葉の特徴や使い方に関する事項	62.8 %	73.6 %	71.2 %
情報の扱い方に関する事項	55.2 %	66.5 %	63.4 %
話すこと・聞くこと	58.5 %	73.5 %	72.6 %
書くこと	19.8 %	28.9 %	26.7 %
読むこと	60.4 %	73.2 %	71.2 %

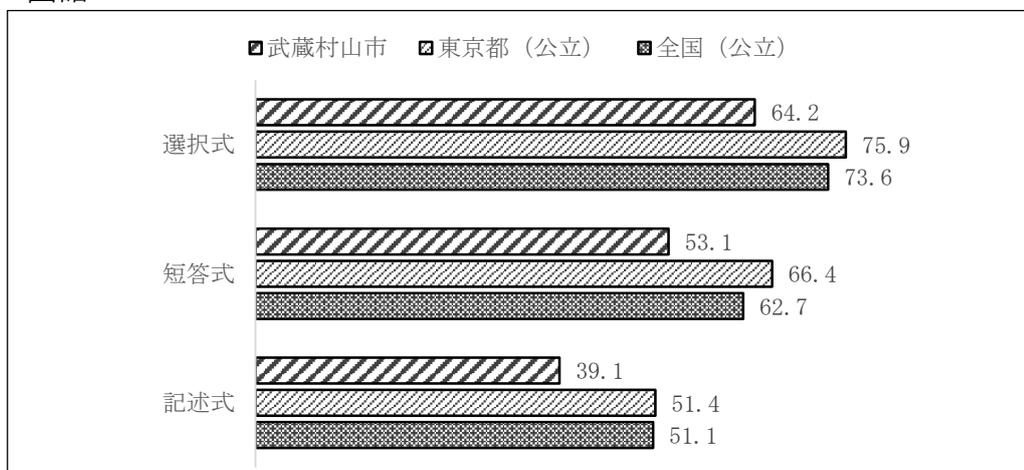
イ 算数



	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
数と計算	55.4 %	71.0 %	67.3 %
図形	42.8 %	54.8 %	48.2 %
変化と関係	62.8 %	75.8 %	70.9 %
データの活用	51.7 %	67.3 %	65.5 %

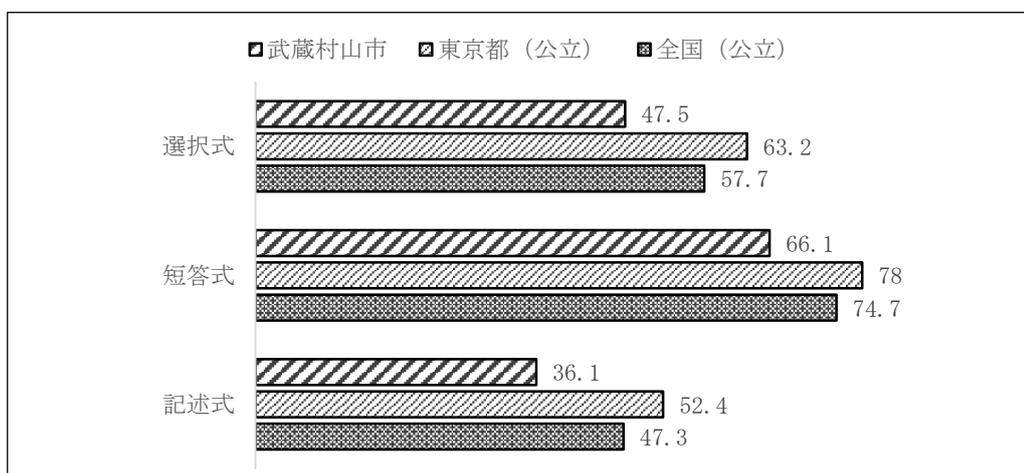
(4) 問題形式別の結果

ア 国語



	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都 (公立)	全国 (公立)
選択式	64.2 %	75.9 %	73.6 %
短答式	53.1 %	66.4 %	62.7 %
記述式	39.1 %	51.4 %	51.1 %

イ 算数



	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都 (公立)	全国 (公立)
選択式	47.5 %	63.2 %	57.7 %
短答式	66.1 %	78.0 %	74.7 %
記述式	36.1 %	52.4 %	47.3 %

(5) 平均正答率が高い問題

ア 国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
1 三 (2) イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する。	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる

雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。

1 比らべて
2 比べて
3 比て

(2)
その番号を書きましよう。
部イを書き直したものであるとして適切なものを、次の1から3までの中から一つ選んで、

(ア) 正答

2

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 87.4 %
- b 東京都（公立） 93.0 %
- c 全国（公立） 93.1 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 3.1 %
- b 東京都（公立） 1.6 %
- c 全国（公立） 1.0 %

イ 算数

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる

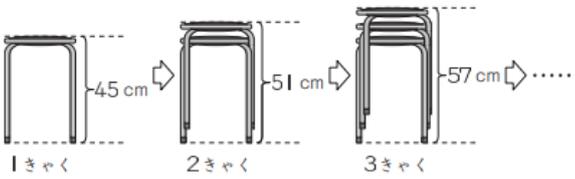
1

同じいすがたくさんあります。

(1) はるまさんたちは、いすをかたづけのために、下のよう重ねています。



1きゃくのいすの高さは、45 cm です。
下のよういすを重ねていくと、高さが変わります。



いすの数と高さの関係を、下の表にまとめます。

いすの数 (きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

表の中の **A** にはまる数を書きましょう。

(ア) 正答

69

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 89.2 %
- b 東京都 (公立) 94.3 %
- c 全国 (公立) 93.5 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 1.6 %
- b 東京都 (公立) 0.9 %
- c 全国 (公立) 0.8 %

(6) 特に課題が見られた問題

ア 国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
1 二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。

○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。

○ 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア イ い が い に 雑 草 が 生 え て き て、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ くら べ て み ま し た。ウ き かん は 7 月 1 日 か ら 15 日 ま で で す。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

日	農家の田んぼの雑草の量 (個)	学校の田んぼの雑草の量 (個)
7月1日	1	2
7月8日	2	3
7月15日	3	4

1日あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組む、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あどの条件に合わせて書きましょう。

に学校の米作りの内容に入る内容を

【カード①】

6月24日

- ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- ・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日

- ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
- ・調査さかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日

- ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
- ・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて問題点とその解決方法を書こう。

(ア) 正答

(例) グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 19.8 %
- b 東京都（公立） 28.9 %
- c 全国（公立） 26.7 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 12.9 %
- b 東京都（公立） 8.2 %
- c 全国（公立） 7.1 %

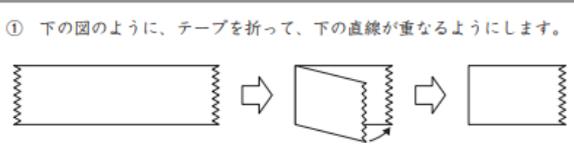
イ 算数

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
2 (3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる

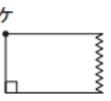
(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



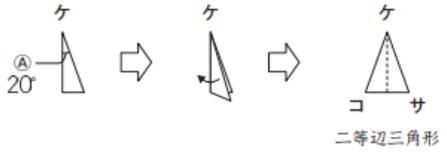
④ 開くと三角形ができました。



ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下のAの角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



ゆいな
わたしは、Aの角の大きさを20°にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたる
私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、Aの角の大きさをゆいなしんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、Aの角の大きさを何度にするればよいですか。
答えを書きましょう。

(ア) 正答

30 (度)

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 17.1 %
- b 東京都 (公立) 35.2 %
- c 全国 (公立) 24.9 %

(ウ) 無解答率

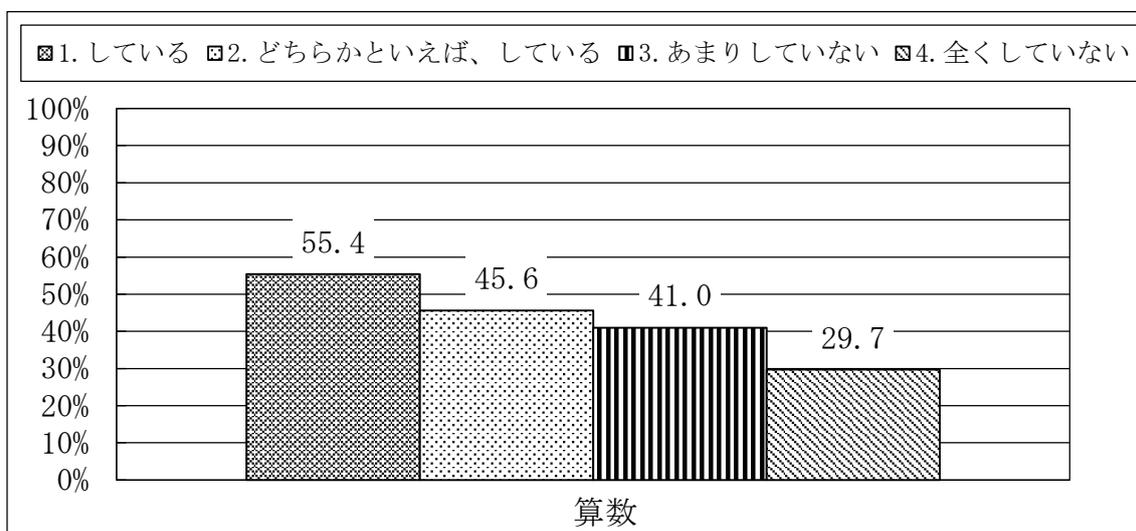
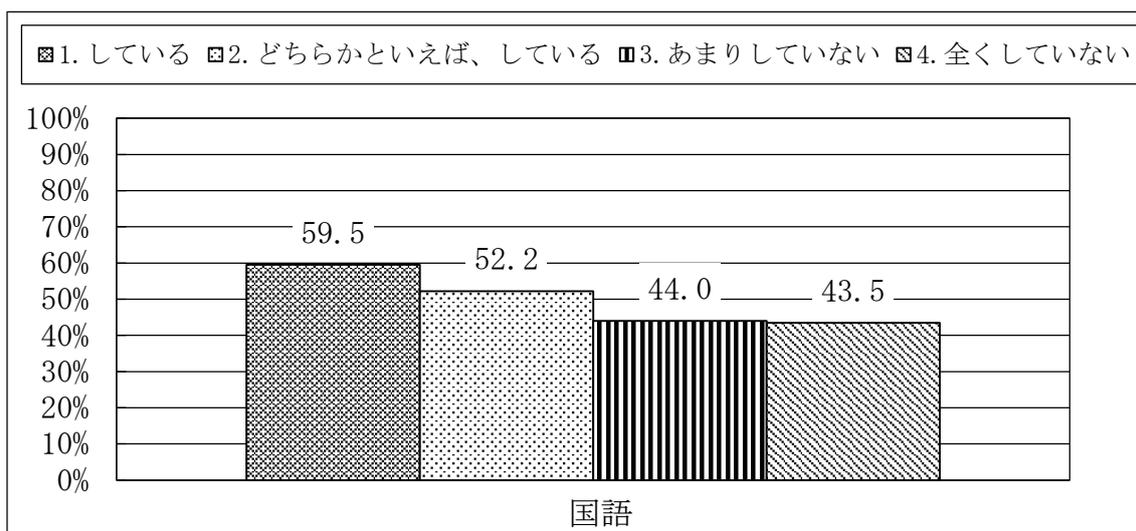
- a 武蔵村山市 7.6 %
- b 東京都 (公立) 4.2 %
- c 全国 (公立) 3.7 %

(7) 児童質問紙と学力のクロス分析

ア 基本的な生活習慣等

質問番号	質問事項
(1)	朝食を毎日食べていますか

選択肢		児童数の割合	平均正答率	
			国語	算数
1	している	81.0 %	59.5 %	55.4 %
2	どちらかといえば、している	10.0 %	52.2 %	45.6 %
3	あまりしていない	7.0 %	44.0 %	41.0 %
4	全くしていない	1.9 %	43.5 %	29.7 %
無回答・その他		0.0 %	-	-



3 中学校の調査結果

(1) 平均正答数及び平均正答率

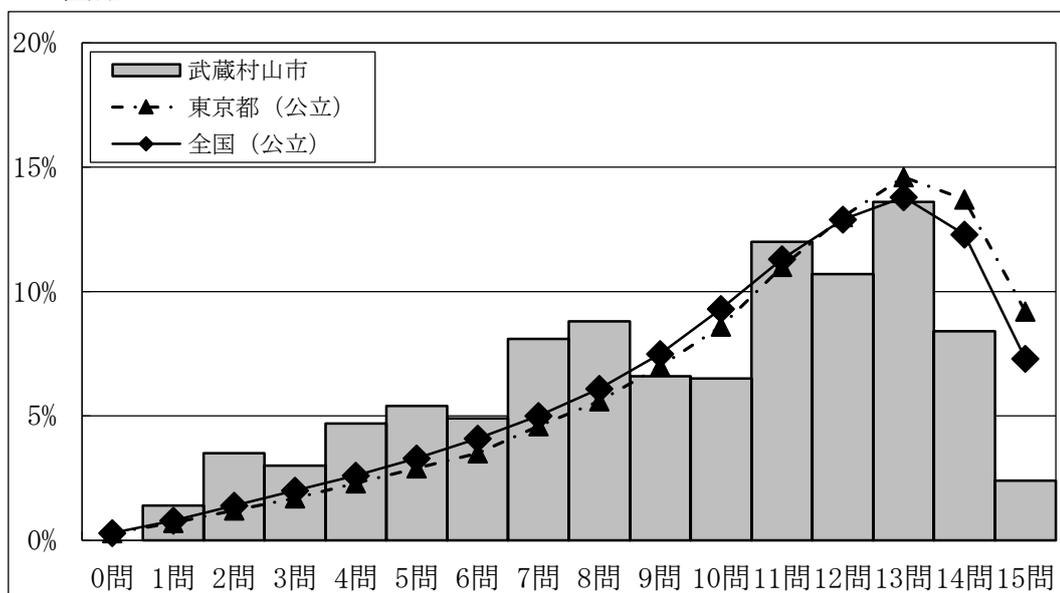
	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
武蔵村山市	9.3 / 15	62 %	6.5 / 15	44 %
東京都 (公立)	10.8 / 15	72 %	8.2 / 15	54 %
全国 (公立)	10.5 / 15	69.8 %	7.6 / 15	51.0 %

	英語		英語 (話すこと)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
武蔵村山市	6.9 / 17	41 %	0.4 / 5	7 %
東京都 (公立)	8.8 / 17	52 %	—	—
全国 (公立)	7.7 / 17	45.6 %	0.6 / 5	12.4 %

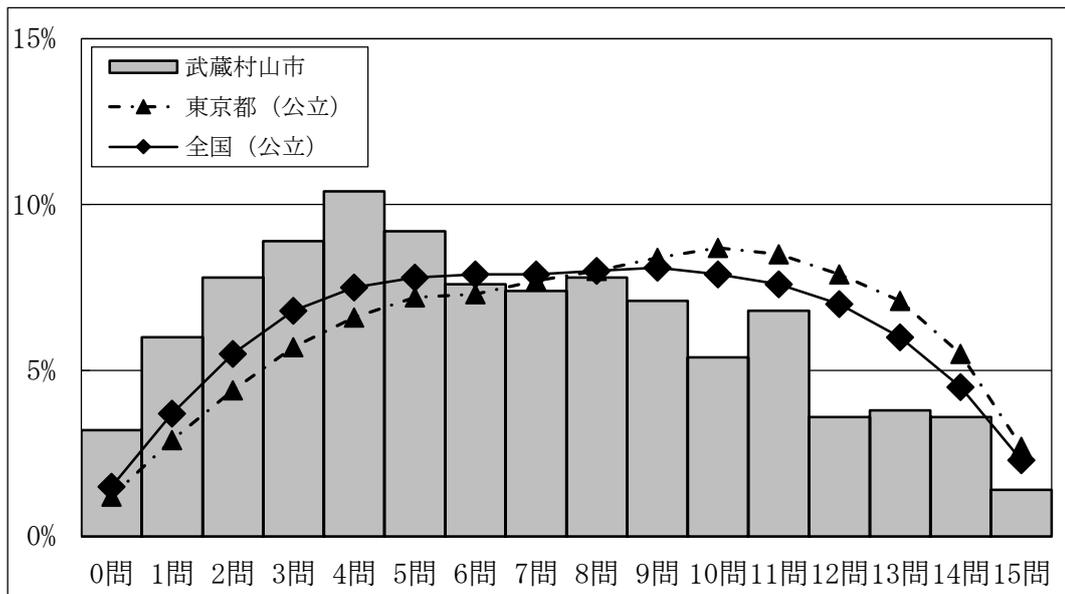
※英語 (話すこと) の全国の結果は国公立

(2) 正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)

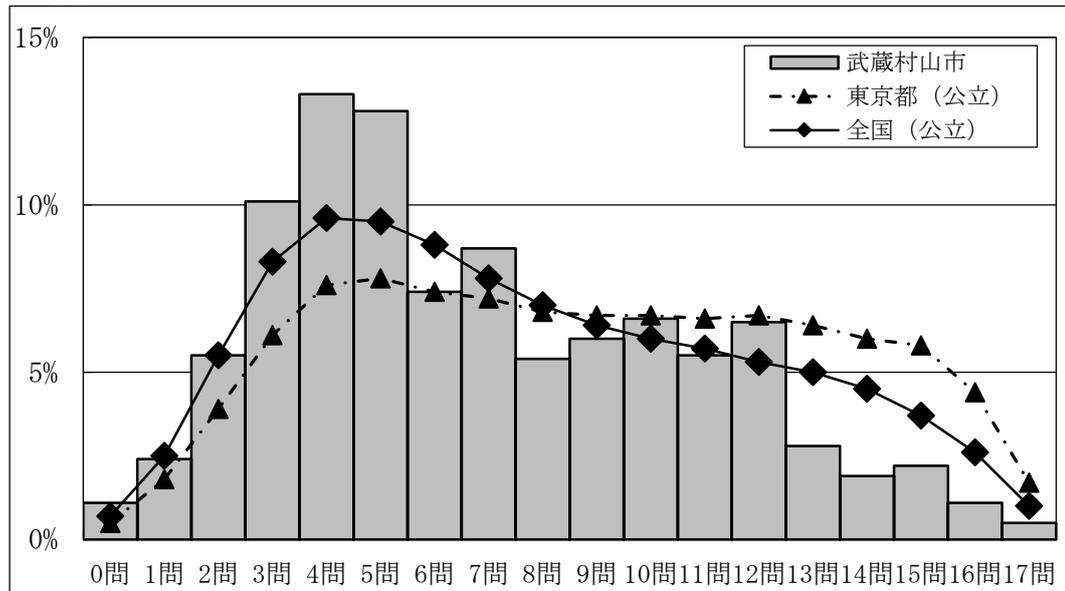
ア 国語



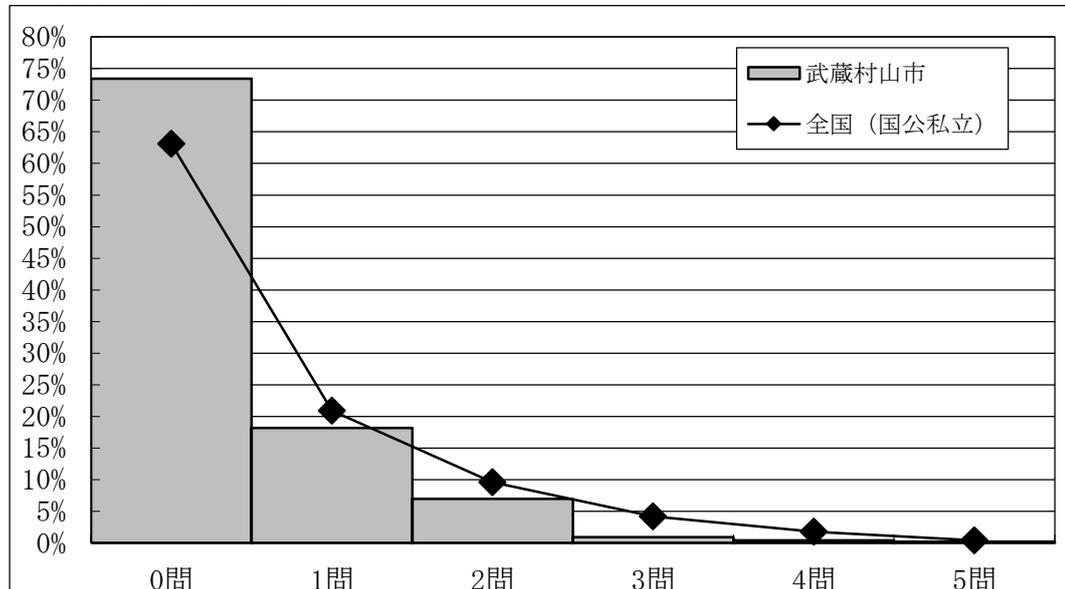
イ 数学



ウ 英語

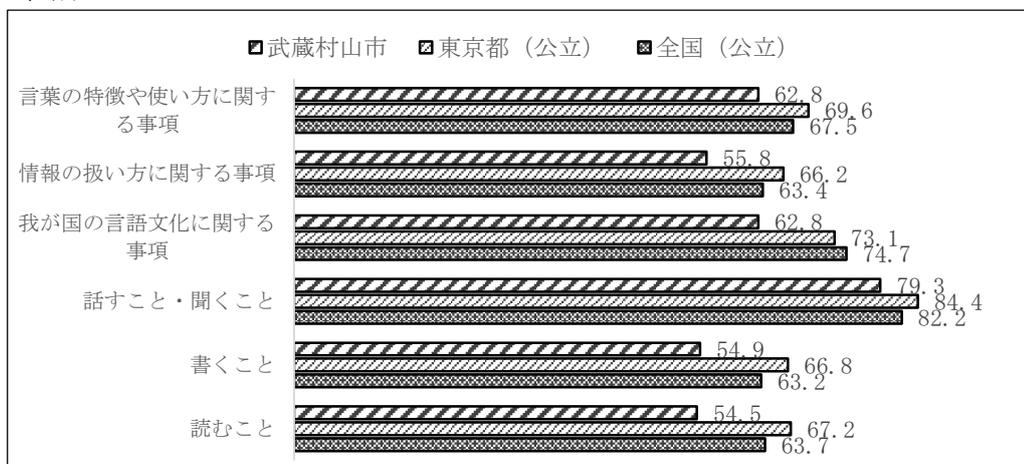


エ 英語 (話すこと)



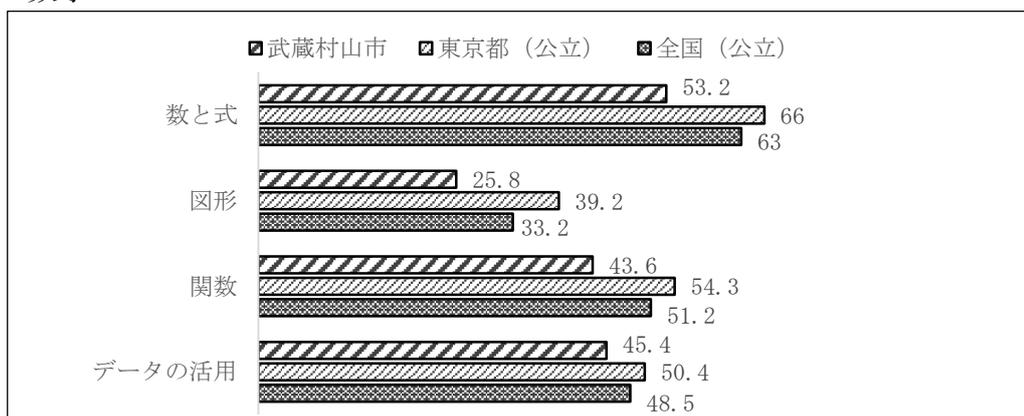
(3) 領域別の結果

ア 国語



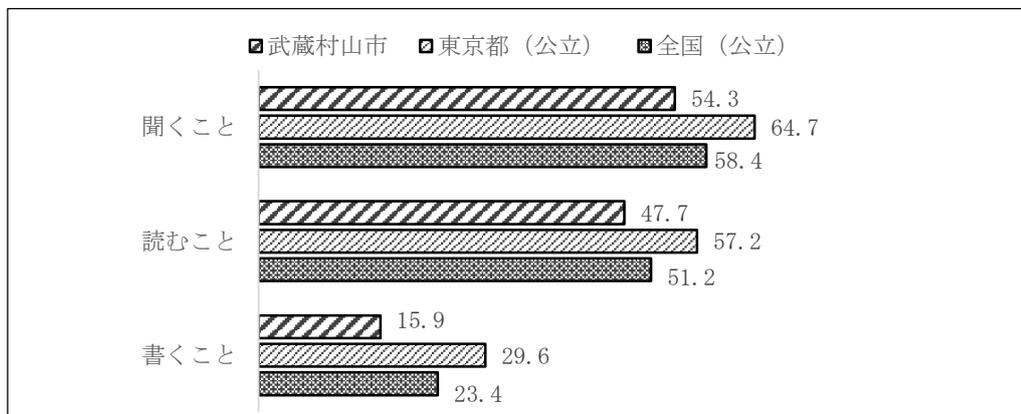
	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
言葉の特徴や使い方に関する事項	62.8 %	69.6 %	67.5 %
情報の扱い方に関する事項	55.8 %	66.2 %	63.4 %
我が国の言語文化に関する事項	62.8 %	73.1 %	74.7 %
話すこと・聞くこと	79.3 %	84.4 %	82.2 %
書くこと	54.9 %	66.8 %	63.2 %
読むこと	54.5 %	67.2 %	63.7 %

イ 数学



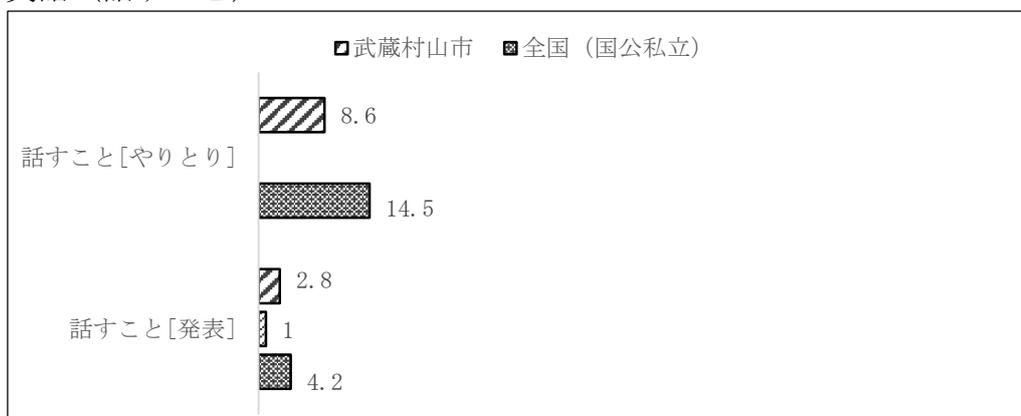
	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
数と式	53.2 %	66.0 %	63.0 %
図形	25.8 %	39.2 %	33.2 %
関数	43.6 %	54.3 %	51.2 %
データの活用	45.4 %	50.4 %	48.5 %

ウ 英語



	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
聞くこと	54.3 %	64.7 %	58.4 %
読むこと	47.7 %	57.2 %	51.2 %
書くこと	15.9 %	29.6 %	23.4 %

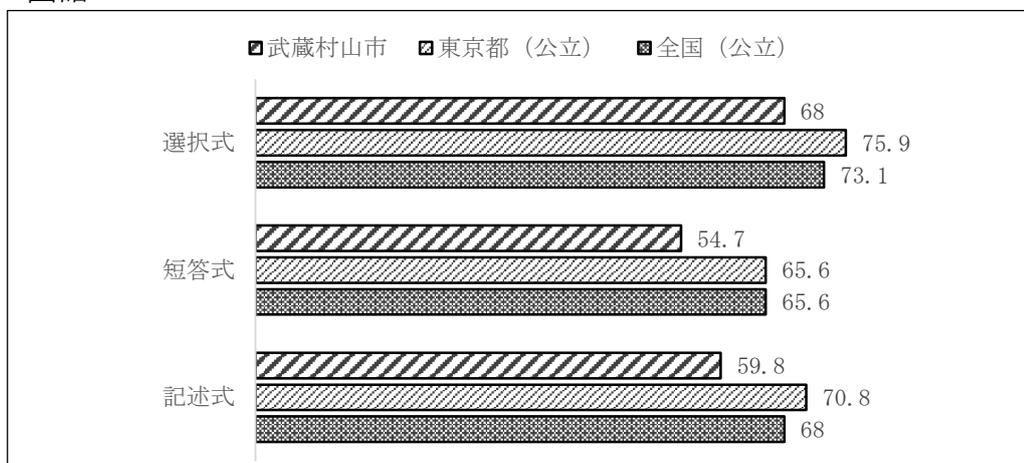
エ 英語（話すこと）



	平均正答率	
	武蔵村山市	全国（国公立）
話すこと [やりとり]	8.6 %	14.5 %
話すこと [発表]	2.8 %	4.2 %

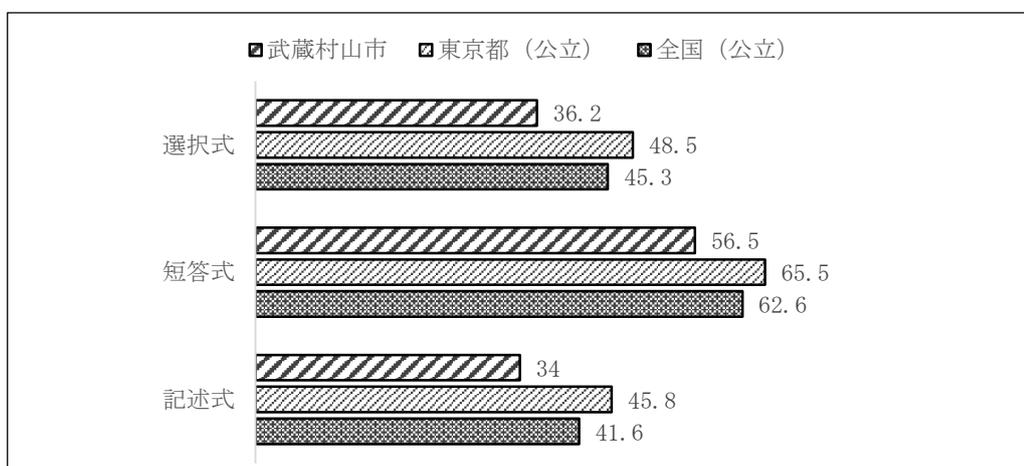
(4) 問題形式別の結果

ア 国語



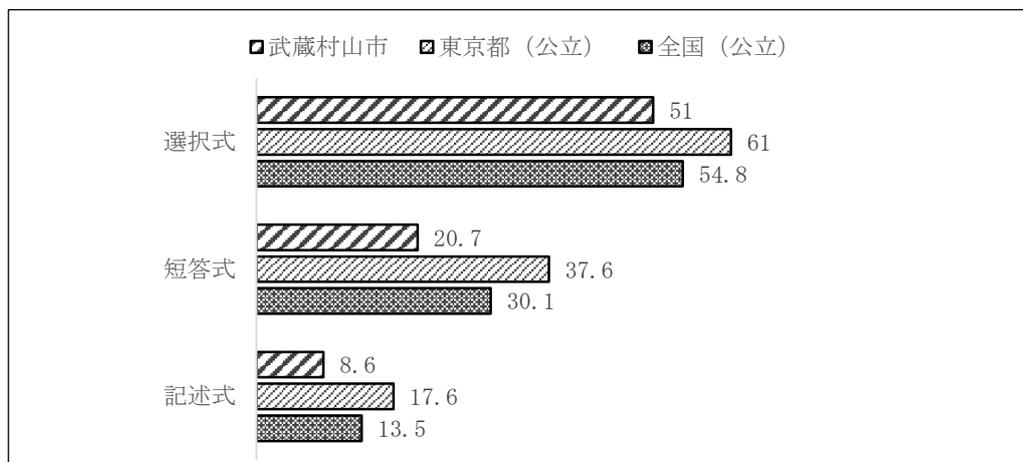
	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
選択式	68.0 %	75.9 %	73.1 %
短答式	54.7 %	65.6 %	65.6 %
記述式	59.8 %	70.8 %	68.0 %

イ 数学



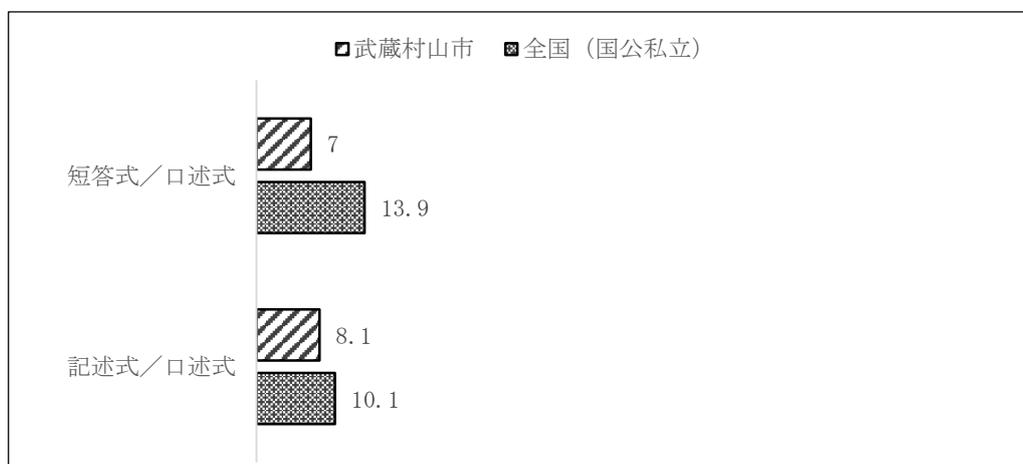
	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都（公立）	全国（公立）
選択式	36.2 %	48.5 %	45.3 %
短答式	56.5 %	65.5 %	62.6 %
記述式	34.0 %	45.8 %	41.6 %

ウ 英語



	平均正答率		
	武蔵村山市	東京都 (公立)	全国 (公立)
選択式	51.0 %	61.0 %	54.8 %
短答式	20.7 %	37.6 %	30.1 %
記述式	8.6 %	17.6 %	13.5 %

エ 英語 (話すこと)



	平均正答率	
	武蔵村山市	全国 (国公立)
短答式/口述式	7.0 %	13.9 %
記述式/口述式	8.1 %	10.1 %

(5) 平均正答率が高い問題

ア 国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる

一 南さんの「インタビューの前に準備したメモ」について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 インタビューの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
- 2 質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
- 3 見通しをもって話を進めるために、質問に対する相手の答えを予想している。
- 4 話題を広げるために、インタビューの目的とは異なる質問を用意している。

製品開発にかける思い

電化製品を開発するに当たって、最も大事にしているのは、安全性です。お客様からお年寄りまで、どの年代の方も安心して使用できる製品の開発を常に心がけています。しかし、安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています。

現在、私は、電気ケトルの開発を担当しています。電気ケトルは、容量が小さく、使う分だけ短時間でお湯を沸かせるのが特徴で、弊社の製品の中でも御好評をいただいているものの一つです。安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しいことですが、よりよい製品をお届けできるように努力を重ねています。

製品開発部 星野主任

① 南さんは、総合的な学習の時間に、「社会で働く上で大切なことを考える」という学習に取り組んでいます。インターネットで情報を集めていた南さんは、電化製品を開発している星野さんの記事に興味をもち、会社を訪問して星野さんにインタビューをしました。次の「インターネットの記事」、「インタビューの前に準備したメモ」、「インタビューの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インターネットの記事】

【インタビューの前に準備したメモ】

〈インタビューの目的〉
星野さんの製品開発に対する思いを聞き、自分の考えの参考にする。

〈インタビューを通して知りたいこと〉

- ・「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたい」と考えるのはどうしてか。
- ①
- ・「安全性を保ちつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。
- ・社会で働く上で何が大切だと思うか。

(ア) 正答

1

(イ) 平均正答率

- | | |
|-----------|--------|
| a 武蔵村山市 | 85.8 % |
| b 東京都（公立） | 89.2 % |
| c 全国（公立） | 87.5 % |

(ウ) 無解答率

- | | |
|-----------|-------|
| a 武蔵村山市 | 0.0 % |
| b 東京都（公立） | 0.1 % |
| c 全国（公立） | 0.1 % |

イ 数学

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
6 (1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる

⑥ 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。 (1) はじめの数が11のとき、計算結果を求めなさい。

図1

夏希さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が1、4、-5のときは、それぞれ下のような計算になります。

計算の例

はじめの数が1のとき

計算結果は 6 になる

はじめの数が4のとき

計算結果は 15 になる

はじめの数が-5のとき

計算結果は -12 になる

(ア) 正答

36

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 84.8 %
- b 東京都 (公立) 89.9 %
- c 全国 (公立) 88.9 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 5.7 %
- b 東京都 (公立) 2.0 %
- c 全国 (公立) 2.4 %

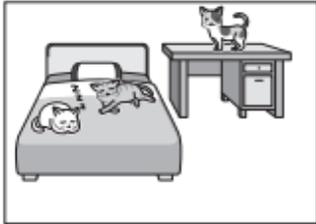
ウ 英語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる

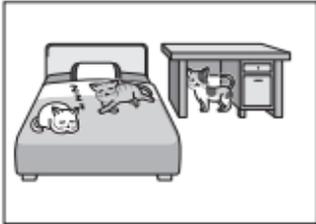
1 (放送問題)
 話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)

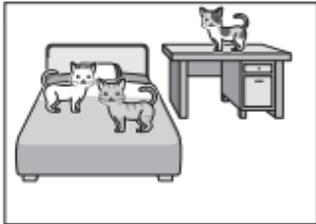
1



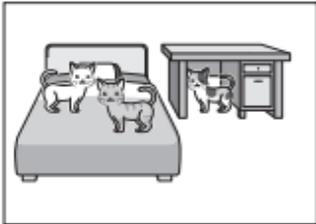
2



3



4



(1)スクリプト Look at this picture.
 There are three cats.
 You can see a cat under the desk.
 And the other cats are on the bed.
 They are sleeping.

(ア) 正答

2

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 78.5 %
- b 東京都 (公立) 83.1 %
- c 全国 (公立) 79.0 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 0.5 %
- b 東京都 (公立) 0.2 %
- c 全国 (公立) 0.1 %

(6) 特に課題が見られた問題

ア 国語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる

三 学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の見聞が工夫を加えて現代語で書かれたものである。どこがどのように工夫されていると考えられますか。「授業で読んだ「竹取物語」の一部」や「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、「本線」で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の〈原文〉とその〈現代語訳〉、学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

〔原文〕
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの嶋となむいひける。その竹の中に、もとある竹なむ一節ありける。あやしがりて、寄りて見るに、節の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いさうつくうてゐたり。

〔現代語訳〕
今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思つて、近寄つて見ると、節の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

〔見聞〕「竹取物語」による。
〔見聞〕「竹取物語」による。
〔見聞〕「竹取物語」による。

(ア) 正答

(例) 「よろづのこと」を「笠、竿、策、籠、筆、箱、筒、箸。」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものをつくっていたのかが分かるようにしている。

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 39.8 %
- b 東京都（公立） 54.1 %
- c 全国（公立） 50.0 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 31.9 %
- b 東京都（公立） 18.1 %
- c 全国（公立） 20.7 %

イ 数学

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
9 (1)	2つの直線 BC と直線 AE が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかを見る

9 次の図1のように、 $CA = CB$ の二等辺三角形ABCと、 $\triangle ABC \cong \triangle DEF$ となるような $\triangle DEF$ の2つの三角形を厚紙で作ります。

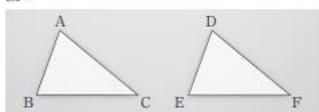


図1

図1の2つの三角形の厚紙を使って、次の方法1と方法2でそれぞれ2つの直線をひきます。

方法1

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、図2のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Fを点Aに、点Dを点Cに重ねる。

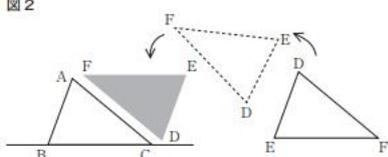


図2

◇ 図3のように、点Aと点Fが重なった点をAとして、直線AEをひく。また、点Cと点Dが重なった点をCとする。

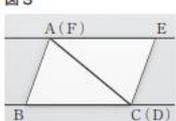


図3

方法2

◇ $\triangle ABC$ を置いて、直線BCをひく。そして、図4のように、 $\triangle DEF$ を回して、点Dを点Aに、点Eを直線BC上に置く。ただし、点Eは点Bと重ならないように置く。

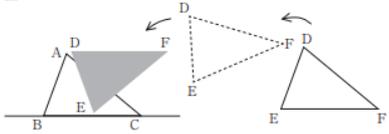


図4

◇ 図5のように、点Aと点Dが重なった点をAとして、直線AFをひく。

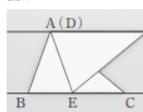


図5

優奈さんは、方法1の直線BCと直線AE、方法2の直線BCと直線AFがそれぞれ平行になるのではないかと考え、調べることにしました。

次の(1)、(2)の各問に答えなさい。

(1) 優奈さんは、前ページの**方法1**の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の**図6**をかきました。**図6**の $\triangle ABC$ と $\triangle CEA$ は、それぞれ $CA = CB$ 、 $AC = AE$ で、 $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ です。**図6**において、 $BC \parallel AE$ であることは、すでにわかっている $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ をもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。 $BC \parallel AE$ であることを証明しなさい。

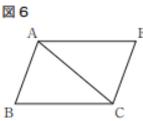


図6

(ア) 正答

(例) $\triangle ABC \cong \triangle CEA$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、 $\angle BCA = \angle EAC$ よって、錯角が等しいから、 $BC \parallel AE$

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 25.5 %
- b 東京都 (公立) 39.9 %
- c 全国 (公立) 32.1 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 32.9 %
- b 東京都 (公立) 20.0 %
- c 全国 (公立) 24.7 %

ウ 英語

問題番号	問題の概要	出題の趣旨
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'm や don't など）は1語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. **【3語】**

(7) 正答

(例) Our school has a school festival in October.

In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize.

Many people come to listen to our songs.

(イ) 平均正答率

- a 武蔵村山市 2.8 %
- b 東京都（公立） 10.1 %
- c 全国（公立） 7.4 %

(ウ) 無解答率

- a 武蔵村山市 29.4 %
- b 東京都（公立） 17.1 %
- c 全国（公立） 21.4 %

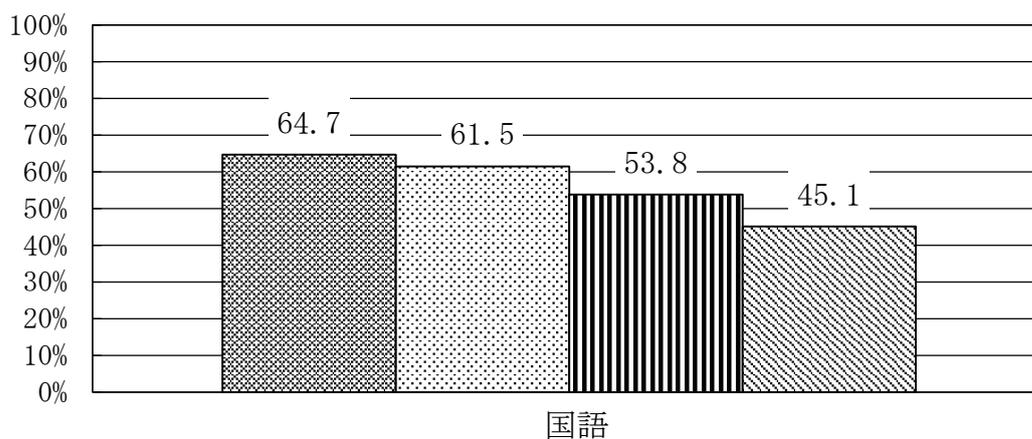
(7) 生徒質問紙と学力のクロス分析

ア 基本的な生活習慣等

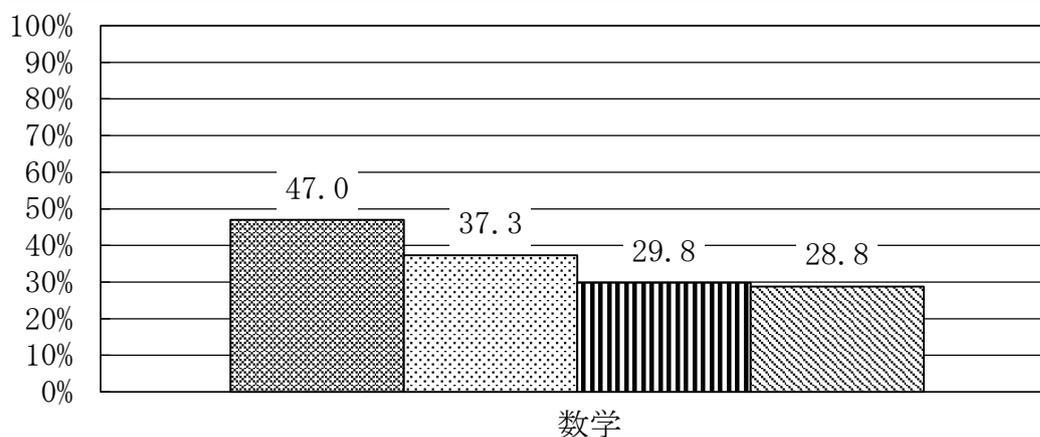
質問番号	質問事項
(1)	朝食を毎日食べていますか

選択肢		生徒数の割合	平均正答率		
			国語	数学	英語
1	している	76.0 %	64.7 %	47.0 %	43.5 %
2	どちらかといえば、している	11.3 %	61.5 %	37.3 %	35.5 %
3	あまりしていない	7.0 %	53.8 %	29.8 %	31.6 %
4	全くしていない	5.6 %	45.1 %	28.8 %	26.9 %
無回答・その他		0.2 %	-	-	-

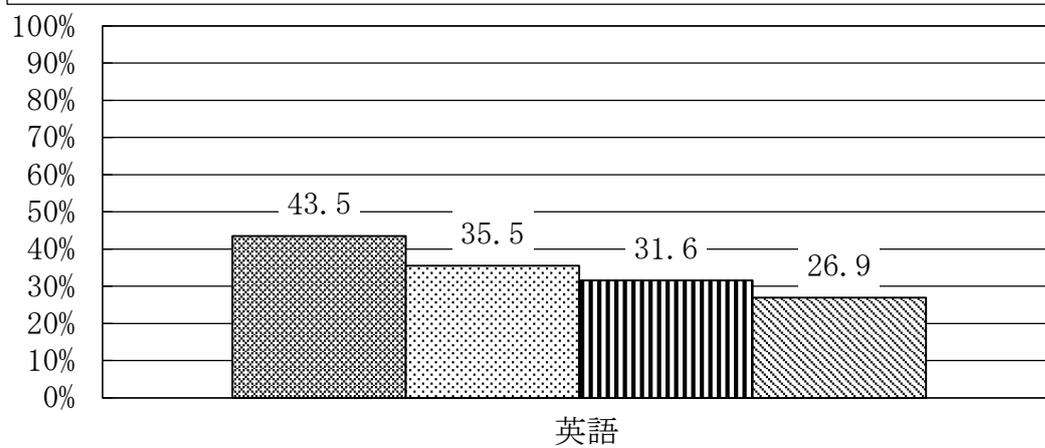
■1. している ■2. どちらかといえば、している ■3. あまりしていない ■4. 全くしていない



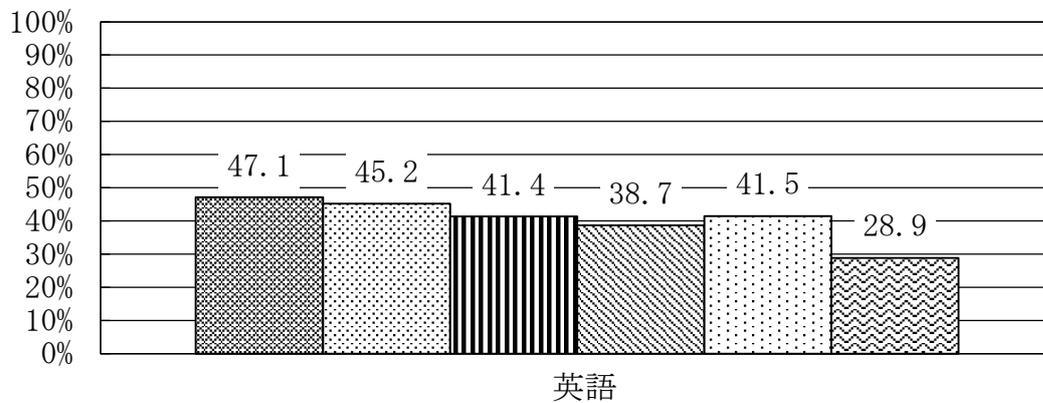
■1. している ■2. どちらかといえば、している ■3. あまりしていない ■4. 全くしていない



■1. している ■2. どちらかといえば、している ■3. あまりしていない ■4. 全くしていない



- 1. 3時間以上
- 2. 2時間以上、3時間より少ない
- 3. 1時間以上、2時間より少ない
- 4. 30分以上、1時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 6. 全くしない



4 調査問題・正答例・解説資料等（二次元コード）

(1) 教科に関する調査

ア 小学校

教科	調査問題	正答例	解説資料
国語			
算数			

イ 中学校

教科	調査問題	正答例	解説資料
国語			
数学			
英語			
	話すこと 	話すこと 	

(2) 質問紙調査

校種	児童生徒質問紙	学校質問紙
小学校		
中学校		

武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託
プロポーザル実施要領

令和 5 年 9 月

武蔵村山市教育委員会

1 目的

この要領は、「武蔵村山市プロポーザル方式実施ガイドライン」に基づき、武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託プロポーザル（以下「本業務委託プロポーザル」という。）の実施について、必要な事項を定めるものである。

2 業務概要

- (1) 件名 武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託
- (2) 業務内容 「武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託仕様書」のとおり
- (3) 履行期間 令和7年3月1日（土）から令和13年7月31日（木）まで

3 予算

提案上限額（消費税及び地方消費税を含む。） 1,584,530,000 円

（ただし、令和6年度分は1,200,000円を上限額とする。）

※ 上記の提案上限額は、令和6年度以降の予算のため現時点では未確定である。

武蔵村山市議会による減額、修正又は削除等の修正があった場合は、契約の締結を中止又は仕様書を変更して契約を締結する場合がある。

4 スケジュール（予定）

年月	内容	備考
令和5年9月11日（月）	実施について公示、参加申込書及び仕様書等の説明図書の配布	ホームページ
9月22日（金）	参加申込書による参加申込受付期限	持参、郵送又はメール
9月27日（水）	1次審査（書類審査）	
10月3日（火）	参加資格審査結果通知書による通知	メール
10月10日（火）	仕様書等に係る質問書提出期限	メール
10月17日（火）	質問書回答	メール
10月18日（水）～ 11月10日（金）	企画提案書提出	持参、郵送
11月17日（金）	2次審査（プロポーザル審査）	プレゼンテーション等
11月22日（水）	プロポーザル審査結果通知書による通知	メール
12月中旬	教育委員会議決（優先契約交渉事業者）	
令和6年12月（上旬）	契約締結請求、執行伺、仕様書、随意契約（特命）依頼書の提出	
令和7年2月（上旬）	契約締結	

5 実施形式

公募型プロポーザル

6 参加資格

プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる事項を満たす者でなければならない。

- (1) 武蔵村山市競争入札参加資格を有していること。
- (2) 武蔵村山市競争入札参加資格者指名停止措置要綱（昭和51年5月15日市長決裁）による指名停止を受けていないこと。
- (3) 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立て又は、民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立てがなされていないこと。
- (4) 武蔵村山市契約における暴力団等排除措置要綱（平成23年武蔵村山市訓令（甲）第7号）の措置要件に該当しないこと。
- (5) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当していないこと。
- (6) 5,000食以上の学校給食における共同調理場方式のセンターにおいて、3年以上の調理及び配送配膳の業務受託実績を有していること。
- (7) 東京都内に本社、支社又は事業所のいずれかを有していること。
- (8) 競争入札参加資格審査申請において、提出された書類の記載事項に虚偽がないこと。

7 募集内容

- (1) 募集方法 市公式ホームページ
- (2) 申込方法 主管課窓口持参、郵送又は電子メール
- (3) 参加申込時提出書類及び部数
 - ア 参加申込書（第1号様式）及び応募資格要件確認書（第2号様式） 各1部
 - イ 武蔵村山市競争入札参加資格証（写し） 1部
 - ウ 業務実績書（第3号様式） 1部

8 情報公開及び提供

- (1) 情報公開及び提供の内容 実施要領、募集要項、仕様書等の説明図書、全参加事業者についての評価（ただし、優先交渉権者以外は匿名）、審査委員
- (2) 情報公開及び提供の方法 市公式ホームページ

9 審査概要

別に定める武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において審査する。

- (1) 委員構成
 - ア 委員長 教育長
 - イ 副委員長 教育部長
 - ウ 委員 企画財政部長、学校給食課長、防災食育センター整備担当課長

(2) 審査方法

第一次審査（書類審査）及び第二次審査（提案書、見積書、プレゼンテーション審査）

10 優先契約交渉事業者決定方法

- (1) 受託事業者は、公募型プロポーザルにより選考する。
- (2) 受託事業者は、審査委員会の審査に基づき審査委員会委員長が決定する。
- (3) 選考は、審査基準に基づき、提出書類、プレゼンテーション及び質疑応答の審査により行う。
- (4) 選考の結果、評価点が最も高い事業者を優先契約交渉事業者とし、随意契約の交渉を行う。ただし、その事業者と合意に至らない場合は、評価点の合計が次に高い事業者から順に交渉を行う。
- (5) 評価点の合計が同点の場合は、審査委員の多数決により選定する。
- (6) 選考結果は、参加事業者全てに通知する。
- (7) 参加者が1社になった場合でも審査を行い、審査委員の評価点の平均点が満点の2分の1以上である場合は、優先契約交渉事業者として選定する。

11 参加申込方法

本プロポーザルへの参加を希望する事業者は、参加申込書等を次のとおり提出すること。なお、提出期限までに参加申込書等の提出がない事業者からの提案は受け付けない。

(1) 提出書類及び部数

- ア 参加申込書（第1号様式）及び応募資格要件確認書（第2号様式） 各1部
- イ 武蔵村山市競争入札参加資格証（写し） 1部
- ウ 業務実績書（第3号様式） 1部

(2) 提出期限

令和5年9月22日（金） 午後5時（必着）

(3) 提出方法

主管課窓口持参、郵送（郵送の場合は、締切日時までに必着のこと。）又は電子メールで提出すること。電子メールで提出する場合、電子メール送信後に担当まで送信確認の電話連絡をすること。

(4) 提出先

武蔵村山市教育委員会教育部学校給食課

12 第一次審査

(1) 書類審査

参加申込時の提出書類に不備等がないか審査し、申込事業者全員に対し、参加資格審査結果通知書を令和5年9月27日（水）までに、電子メールにより通知する。なお、審査結果に係る電話等での問合せには応じないものとする。

また、結果に対して異議を申し立てることはできない。ただし、参加資格を満たしていないと通知された参加事業者は、令和5年9月27日（水）から令和5年10月4日（水）までの期間において、その理由について説明を求めることができる。

(2) 留意事項

提出後の差替えは認めず、書類は返却しない。

13 企画提案書の提出

第一次審査において、参加資格審査結果通知書により参加資格を満たし、参加について受け付けた旨の通知を受けた事業者のみが対象となる。

(1) 提出書類

企画提案書（第4号様式）を提出するものとする。

(2) 記載内容

企画提案書の内容は、第4号様式別紙を参考に作成すること。

(3) 提出期限

令和5年11月10日（金）午後5時（必着）

(4) 提出部数

正本：1部 副本：7部

(5) 提出方法

主管課窓口持参、郵送（郵送の場合は、締切日時までに必着のこと。）。

(6) 提出先

武蔵村山市教育委員会教育部学校給食課

(7) 提出上の留意点

ア 企画提案書の提出は、1事業者につき1案とする。

イ サイズはA4判、縦型、横書きを基本とすること。また各ページ下部にページ番号を付すこと。

ウ ファイルの表紙に、「業務名」「事業者名」を明記すること。

エ 正確かつ簡潔な内容とし、提出が求められていない資料を添付する等、過大なものにならないよう留意すること。白黒、カラーは問わない。

オ 提出書類の差替え、修正、追加等は認めない。ただし、審査委員会からの要請のあったものについてはこの限りではない。

カ 提出後の書類は返却しない。

14 見積書の提出

- (1) 企画提案書とは別に、仕様書での要求要件を全て満たすために必要となる見積書を提出すること。(第5号様式)なお、見積書は開業準備期間と年度ごとに分けて作成し、全ての期間の集計総括表も作成すること。
- (2) 見積書には、事業者の所在地・商号又は名称・代表者肩書・氏名を記入すること。
- (3) 見積上限額(消費税及び地方消費税を含む。)を超えないこと。超えた場合には失格となるため注意すること。
- (4) 提出期限
令和5年11月10日(金)午後5時(必着)
- (5) 提出部数
正本：1部 副本：7部
- (6) 提出方法
主管課窓口持参、郵送(郵送の場合は、締切日時までに必着のこと。)
- (7) 提出先
武蔵村山市教育委員会教育部学校給食課

15 質問受付及び回答

仕様書等の提出に関し質問がある場合は、所定の質問書を次により提出すること。なお、期限までに到達しない質問及び電話(口頭)での質問には回答しない。

- (1) 受付期間
令和5年10月3日(火)午前9時から
令和5年10月10日(火)午後5時まで(必着)
- (2) 質問方法
質問事項は、質問書に必要事項を記入し、電子メールで提出すること。
なお、メール件名は「【事業者名】武蔵村山市小学校学校給食調理等業務委託(質問書)」とし、電子メール送信後に担当まで送信確認の電話連絡をすること。
なお、実施要領や企画提案書等の記入方法、手続等、本業務の申請に必要と判断される質問のみを受け付ける。
- (3) 提出先
武蔵村山市教育委員会教育部学校給食課
- (4) 回答
提出された全ての質問と回答について、令和5年10月17日(火)までに電子メールにより通知するとともに、市ホームページで公開する。

16 第二次審査(プレゼンテーション)

- (1) 概要
ア 審査委員会を設置し、プレゼンテーション形式で審査を実施する。
イ 審査委員は、5名とする。

(2) 日時

令和5年11月17日（金）（予定）とし、提案事業者に電子メールにより別途連絡する。

(3) 場所

中部地区会館401大集会室（市役所4階）

(4) 審査基準

ア 「審査基準表」の各評価項目に対し、評価採点を行う。

イ 全委員の採点を合計して平均点を算出し、評価点が最も高い事業者を優先契約交渉事業者として決定する。

ウ 委員1人当たりの最高点は100点とする。

(5) 審査方法

ア 審査委員会においてプレゼンテーション及び質疑応答により審査する。

イ プレゼンテーションへの参加人数は5人以内とし、実際に業務を委託した際に主として担当する者を出席させること。

ウ 審査の順番は、原則として企画提案書の受付順とする。

エ 実施時間は、1事業者につき30分以内（準備等含む）プレゼンテーションで20分以内及び質疑応答10分以内とする。

オ プレゼンテーションは、提出した企画提案書を踏まえて行うこととし、追加提案の説明や追加資料の配布は認めない。パソコン及びプロジェクターの使用を許可するが、パソコン・プロジェクター等は事業者が持参すること。

カ 審査は個別に行い、非公開とする。なお、プレゼンテーションの内容は録音する場合ある。

キ 開始時間、会場等詳細は、後日メールにて連絡する。

(6) 審査結果

審査の結果は、令和5年11月22日（水）に電子メールにより第二次審査を受けた全事業者に対して、プロポーザル審査結果通知書により通知する。

なお、審査及び審査結果に係る電話等での問合せには応じないものとする。

また、結果に対して異議を申し立てることはできない。ただし、優先契約交渉事業者として決定されなかった参加事業者は、令和5年11月22日（水）から11月27日（月）までの期間において、決定されなかった理由について説明を求めることができる。

17 審査基準

審査基準は、次のとおりとする。

審査基準	配点
1 学校給食に対する理解があること。	(15)
(1) 教育の一環としての学校給食の意義や目的を理解するとともに、その重要性を認識しているか。	5
(2) 共同調理場方式をよく理解し、効率的に調理業務を遂行するためのツールや独自システムの方策を提案しているか。	5
(3) おいしい給食づくりの工夫や新たな献立の試作等に対する協力体制が提案されているか。	5
2 安全・安心でおいしい学校給食を提供することができること。	(35)
(1) 学校給食衛生管理基準及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理マニュアルを整備し、これに基づいた調理業務を行えるか。	5
(2) 東京都の「学校給食における安全・衛生管理について」を遵守するとともに、年度の更新にも速やかに対応できるか。	5
(3) 過去に安全衛生管理上重大な事故を起こしていないか。起こしていた場合のその後の対応は適切であったか。	5
(4) 従事者等に対する食品の安全衛生管理に関する教育は徹底しているか。	5
(5) 従事者の健康管理（健康診断、細菌検査等）を確実に行うとともに労災事故を防ぐための防止策を設定し、その体制を整備しているか。	5
(6) 食中毒、異物混入等の予防対策の取組は十分であるか。	5
(7) アレルギー対応調理が行える実施体制及び経験を有しているか。	5
3 業務を安定して行う能力を有していること。	(20)
(1) 仕様書に基づき業務を継続して安定的に履行する能力を有しているか。	5
(2) 緊急時の危機管理体制が確立されており、かつ、その取組が十分に機能するか。	5
(3) 手作り給食の経験者並びに学校給食及び大量調理の経験者を確実に配置するなど、安定的な給食提供のための職員配置がなされるか。	5
(4) 突発的な事象に対し、交代要員の確保など、十分に対応できる体制を有しているか。	5
4 その他	(30)
(1) 独自の事業等の提案は適切であるか。	10
(2) 全体の予算は適切で、経費節減が図れるものであるか。	10
(3) 災害時の支援体制は、実施可能な提案となっているか。	10
合計点数	100

18 契約の交渉及び締結

(1) 通則

契約に際しては、契約優先交渉事業者と契約に向けた協議を行い、その上で契約手続を行うが、提案内容が契約に反映されていない場合又は協議が調わなかった場合は、次点の交渉事業者との協議に移るものとする。

(2) 契約金額

契約金額は、原則、契約優先交渉事業者から提出された見積額とする。

(3) 契約内容

ア 企画提案書等に記載された内容は、契約時の仕様に反映する。

イ 企画提案書等に記載された内容は、契約後に追加費用なしで実施されるものとする。

(4) 契約成立の要件

当該委託契約の履行については、令和6年第1回武蔵村山市議会定例会（予定）により予算の可決が条件となる。また、審議の内容により、仕様書の一部が変更となる場合がある。

19 情報公開及び提供

(1) 情報公開の内容

ア 優先契約交渉事業者決定前

実施要領及び仕様書並びに小学校学校給食調理等業務委託プロポーザル審査委員会要領、実施要領、仕様書

イ 優先契約交渉事業者決定後

決定された優先契約交渉事業者及び審査結果（決定された優先契約交渉事業者以外は匿名とする。）

(2) 提供方法

市ホームページ

20 提出書類の取扱い

(1) 提出された全ての書類は返却しない。

(2) 提出後の差替え及び追加・削除は認めない。

(3) 当市が必要と認めた場合には、追加資料の提出を求めることができる。

(4) 企画提案書の著作権は、当該企画提案書等を作成した事業者に帰属するものとし、提出された書類は、提出した事業者に無断で、本業務委託プロポーザルに係る審査以外には利用しない。

(5) 提出書類の内容について不明な点がある場合は、質問する場合がある。

(6) 当市は、企画提案者から提出された企画提案書等について、武蔵村山市情報公開条例（平成18年武蔵村山市条例第20号）の規定による請求に基づき、第三者に開示することができるものとする。ただし、事業を営む上で、競争上又は事

業運営上の地位その他正当な利益を害すると認められる情報は、非公開となる場合がある。

なお、本業務委託プロポーザルの優先契約交渉事業者決定前において、決定に影響が出るおそれがある情報については、決定後の開示とする。

21 失格事項

- (1) 参加資格要件を満たしていない場合
- (2) 提出書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 実施要領等で示された、提出期日、提出場所、提出方法、書類作成上の留意事項等の条件に適合しない書類の提出があった場合
- (4) 選定結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合
- (5) 正当な理由なくプロポーザル及び質疑応答に応じなかった場合
- (6) 公示の日から契約締結日までに参加資格要件を欠く事態が生じた場合
- (7) 価格見積書の金額が、見積上限額を超過した場合

22 その他

- (1) 書類の作成、会議への出席に要する費用は、提案事業者の負担とする。
- (2) 参加申込書の提出後又は企画提案書の提出後に、都合により参加を辞退することになった場合は、速やかに書面（任意様式）により、事務局宛に提出すること。
- (3) 本業務委託プロポーザルは、優先契約交渉事業者を決定することを目的に実施するものであり、契約内容においては必ずしも提案内容に沿うものではない。

23 事務局（問合せ・提出先）

〒208-0004

武蔵村山市本町六丁目1番地の1

武蔵村山市教育委員会教育部学校給食課 担当：神子・鳴川

電話 042-560-2597 FAX 042-590-2598

Email : lunch-propo@city.musashimurayama.lg.jp

第 1 2 回武蔵村山市小中学生百人一首大会の開催について

- 1 目 的 日本传统文化である百人一首の楽しさを伝えるとともに、百人一首を通して、日本のよき伝統と文化に触れることにより、子供たちの豊かな心を育てることを目的とする。
- 2 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 3 対象及び
定 員 市内在住の小・中学生
小学生の部（源平戦） 市内小学生 3 2 チーム（1 チーム 3 人）
中学生の部（個人戦） 市内中学生 3 2 人
- 4 実施日時 (1) 実施年月日 令和 5 年 1 0 月 2 9 日（日）
及び会場 (2) 時 間 開会式 午前 9 時から
競 技 午前 9 時 2 0 分から
閉会式 午後 3 時 3 0 分から
(3) 会 場 武蔵村山市総合体育館第二・第三体育室
- 5 練習会日時 (1) 実施年月日 令和 5 年 1 0 月 8 日（日）
及び会場 (2) 時 間 午後 2 時から午後 4 時まで
(3) 会 場 市民会館さくらホール展示室・和室
- 6 講師・協力 一般社団法人全日本かるた協会
教育を支援する市民の会
- 7 そ の 他 (1) 定員を超えた場合は、抽選とする。
(2) 小学校各校 2 チーム、中学校各校 5 人の学校推薦枠を設ける。

令和 5 年度少年少女スポーツ大会
第 2 1 回少年少女ドッジボール大会の開催結果について

- 1 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 2 協 力 武蔵村山市スポーツ推進委員協議会
東京都ドッジボール協会
- 3 開 催 日 令和 5 年 7 月 2 2 日 (土)
- 4 場 所 武蔵村山市総合体育館第一体育室
- 5 開 会 式 午前 8 時 3 0 分から
- 6 閉 会 式 午後 4 時 3 0 分から
- 7 試合開始 小学校 3・4 年生の部 午前 9 時
小学校 5・6 年生の部 午後 1 時 3 0 分
- 8 参加状況 小学校 3・4 年生 男子の部 1 4 チーム 2 0 0 人
小学校 3・4 年生 女子の部 2 チーム 2 8 人
小学校 5・6 年生 男子の部 1 2 チーム 1 7 8 人
小学校 5・6 年生 女子の部 2 チーム 2 8 人
計 3 0 チーム 4 3 4 人

9 成 績

区 分	小学校 3・4 年生 男子の部	小学校 3・4 年生 女子の部	小学校 5・6 年生 男子の部	小学校 5・6 年生 女子の部
優 勝	十小 ガンバルズ	一小 最強ガールズ	八小 絆	八小 ドリーム
準優勝	三小 龍炎	七小 ガールズキャ ッチャー	一小 そばにいてね	一小 ファイナルズ 2
第 3 位	九小 D ファイターズ		二小 からあげくん	
	八小 スターフォーズ		雷塚小 バナナニックス	

第18回地区ふれあいスポレク大会の開催について

- 1 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 2 主 管 4地区ふれあいスポレク大会実行委員会
- 3 開 催 日 令和5年10月8日(日) ※雨天の場合、縮小開催予定

4 地区区分

- 中藤地区 17自治会(鍛冶ヶ谷戸、谷津、入り、向山、神明、中藤団地、原山、原山第一、萩ノ尾、中村第一、中村第二、中村第三、馬場、横田、日の出、新海道、平和台第一)
- 西部地区 10自治会(三ツ藤、村山道下、山王森、峰、後ヶ谷戸、宿、残堀、伊奈平、岸、中原)
- 南部地区 15自治会(しのめ、平和台第二、マイホームランド玉川上水、大南五丁目、大南、上水台、第2ブロック、1101、1110号棟、1111号棟、1112、緑が丘第一、緑が丘第二、緑が丘第三、緑が丘第五、)
- 北部地区 13自治会(雷塚、学園、むさしの宿舎、第6ブロック、武蔵村山団地第8ブロック、村山団地第11ブロック、12ブロック、緑が丘第六、緑が丘第七、緑が丘第八、緑が丘第九、緑が丘第11、村山団地42号棟)

5 スポレク大会会場及び実行委員会

区分 地区名	会 場	実行委員会役員		
		実行委員長	副実行委員長	会計
中藤地区	第一中学校校庭 (午前9時開始)	高尾 典之 (谷津自治会長)	池亀 武夫 (日の出自治会長) 佐藤 真言 (スポーツ協力員連絡会会長)	浦野 朋子 (スポーツ協力員) 加瀬 敏子 (スポーツ協力員)
西部地区	総合運動公園運動 場第2運動場 (午前9時開始)	岩田 孝子 (スポーツ協力員連絡会会長)	鈴木 徹也 (三ツ藤自治会長) 宮崎 京介 (伊奈平自治会長) 斎藤 大樹 (スポーツ協力員連絡会副会長)	宮後 弥生 (スポーツ協力員) 国谷 恵 (スポーツ協力員)
南部地区	大南公園野球場 (午前9時開始)	須田 俊男 (上水台自治会長)	比留間 多一 (大南五丁目自治会長) 松田 匡 (スポーツ協力員連絡会会長)	小林 徹 (スポーツ協力員連絡会副会長) 柳原 伸 (スポーツ協力員)
北部地区	雷塚小学校 校庭・体育館 (午前8時30分開始)	吉澤 幹郎 (学園自治会長)	阿比留 瑞雄 (第8ブロック自治会長)	金山 ふみ子 (スポーツ協力員) 富田 弘恵 (スポーツ推進委員)

6 プログラム（案）

	中藤地区	西部地区	南部地区	北部地区
会場	第一中学校校庭	総合運動公園運動場 (第2運動場)	大南公園野球場	雷塚小学校 校庭・体育館
1	開会式 (9時)	開会式 (9時)	開会式 (9時)	開会式 (8時30分)
2	ミニ・グラウンドゴルフ	ホールインワン競争	ウルトラクイズ	玉入れ
3	パン食い	あけてびっくり!?	パン食い競争	グラウンド・ゴルフ体験会
4	玉入れ	おててつないで	ホールインワン 大会	ボッチャ体験会
5	大玉ころがし	みんなの玉入れ	キッズレース	輪投げ
6	じゃんけん大会	ムカデじゃんけん	じゃんけん大会	閉会式
7	閉会式	表彰と閉会式	閉会式	

※ 各地区、企画委員会にて検討している。

第50回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催について

- 1 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 2 期 日 令和5年12月10日（日） 小雨決行
 午前8時 選手受付（総合体育館）
 午前9時 開会宣言（総合体育館駐車場）
 午前9時45分 スタート（女子の部、小学生男子の部、小学生女子の部、中学生男子の部、中学生女子の部）
 午前10時 スタート（一般の部、地域の部）
 午後0時30分 表彰式及び閉会式
 （総合体育館第一体育室）

- 4 コース 市内2周・6区間 14.87km（別紙コース図参照）

区間	始点 ～ 終点	距離
1区	総合体育館前～宿交差点左折～田島内科クリニック	2.95km
2区	田島内科クリニック～大曲り交差点折返し～第一小学校校庭	1.52km
3区	第一小学校校庭～宿交差点右折～市道17号線折返し～総合体育館前	2.84km
4区	総合体育館前～第1運動場入口折返し～宿交差点左折～田島内科クリニック	3.20km
5区	田島内科クリニック～大曲り交差点折返し～第一小学校校庭	1.52km
6区	第一小学校校庭～宿交差点右折～市道17号線折返し～総合体育館前	2.84km

- 5 参加資格 市内在住・在勤・在学者（小学4年生以上）で構成されるチーム
- 6 編 成 1チーム10人以内（監督1人、選手6人、補欠3人以内）
 ※監督は、選手を兼ねることができる。（小学生・中学生の部の監督は、成人とし、選手を兼ねることはできない。また、補欠競技者はなるべく登録すること。複数チームでの参加の場合、補欠選手の重複は認めるが、複数チームでの出場は認めない。）

7 部門及び募集数

部門	内容
一般の部	事業所、学校、クラブ等に所属する者で編成されたチーム (男女混合も可)
地域の部	同一自治会内に居住する者で編成されたチーム (男女混合も可)
女子の部	高校生以上の女子で編成されたチーム
小学生男子の部	小学生男子で編成されたチーム (男女混合も可)
小学生女子の部	小学生女子で編成されたチーム
中学生男子の部	中学生男子で編成されたチーム
中学生女子の部	中学生女子で編成されたチーム
特別参加チーム	姉妹都市栄村村民等主催者が認めた団体により編成されたチーム

※ 募集数は、先着140チームとする。

- 8 申込み (1) 申込期間 令和5年10月5日(木)から同月19日(木)まで (定員になり次第終了)
(2) 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、スポーツ振興課へ持参する。
- 9 参加料 (1) 一般の部、地域の部、女子の部 1チーム 6,000円
(2) 小学生男子の部、小学生女子の部、中学生男子の部、中学生女子の部、特別参加チームは無料。
※ 参加料は、令和5年11月29日(水)の監督会議で納入する。気象状況による大会中止や、チーム事由により大会を棄権した場合など、納入後の返金はしないものとする。
- 10 表彰 (1) 各部門の優勝から第3位までのチームに賞状及びメダルを贈る。
(2) 各部門とも区間の最高記録者には、区間記録賞を贈る。
(3) 原則として参加チームが、3チーム未満の部門はオープン参加とし、表彰は行わない。
- 11 監督会議 令和5年11月29日(水) 午後7時から
中部地区会館(市役所4階) 401大集会室

大会コース図

区間・距離

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 1区 (2.95 km) | 総合体育館前→宿交差点左折→田島内科クリニック |
| 2区 (1.52 km) | 田島内科クリニック→大曲り交差点折返し→第一小学校校庭 |
| 3区 (2.84 km) | 第一小学校校庭→宿交差点右折→市道17号線折返し→総合体育館前 |
| 4区 (3.20 km) | 総合体育館前→第1運動場入口折返し→宿交差点左折→田島内科クリニック |
| 5区 (1.52 km) | 田島内科クリニック→大曲り交差点折返し→第一小学校校庭 |
| 6区 (2.84 km) | 第一小学校校庭→宿交差点右折→市道17号線折返し→総合体育館前 |
| 総距離：14.87 km | |

